

令和6年 第9回

戸田市教育委員会定例会

令和6年9月19日

戸田市教育委員会

第9回教育委員会（定例会）次第

- 1 開会
- 2 前回の会議録の承認
- 3 教育委員提案 別添 資料 1のとおり
- 4 報告事項 別添 資料 2のとおり
- 5 議事 ページ
 - (1) 議案
議案第21号 令和7年度当初教職員人事異動の方針について(案)【秘密会】……【当日資料】
- 6 その他
 - (1) 次回の教育委員会の日程(案)
令和6年10月17日(木)午前9時30分～
 - (2) その他
- 7 閉 会

10月教育委員会関係【会議】日程表

日	曜日	会議名	内 容	時 間	場 所	主管課
1	火					
2	水	戸田市総合的な不登校対策会議	不登校に係る情報交換	15:30～16:30	教育センター	教育政策室
3	木					
4	金					
5	土					
6	日					
7	月					
8	火					
9	水					
10	木	OECD視察	OECDによる視察		戸二小・芦原小	教育政策室
11	金					
12	土	戸田市不登校について考える会	不登校に関する講演会	10:00	文化会館	教育政策室
13	日					
14	月					
15	火					
16	水					
17	木					
18	金					
19	土					
20	日					
21	月					
22	火					
23	水					
24	木	カリキュラム・マネジメント研修会	学校管理職を対象とした研修会	10:00～11:30	オンライン	教育政策室
25	金					
26	土					
27	日					
28	月					
29	火					
30	水	リーディングスキル研修会	リーディングスキルについて学ぶ研修	15:30～16:30	教育センター	教育政策室
31	木					

10月教育委員会関係【行事・講座等】日程表

日	曜日	会議名	内 容	時 間	場 所	主管課
1	火					
2	水	おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
		〔市民大学講座〕 歴史講座	ちちぶ学(秩父の地質・気候・歴史・名産・祭り等)	13:30～15:30	新曽公民館	生涯学習課
3	木	託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、 学習ができるように、保育士が子どもを預かる	9:30～10:20 10:30～11:20 11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
4	金	ととけっこの部屋	親子で一緒にわらべうたで遊び、絵本の読み聞 かせを楽しむ	11:00～11:30	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
		赤ちゃんおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など	10:30～12:00	あいバル2階 和室	生涯学習課
5	土	彩湖周辺の自然観察とカヌー 体験	彩湖周辺の植物等の自然観察とカヌー体験	10:00～12:00	彩湖自然 学習センター	生涯学習課
		おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	11:00～11:30	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
		スマホ・パソコン質問コーナー	パソコン・スマートフォン・タブレット等の基本操作 などの各種IT相談 同時開催ミニ講座「動画をい てみよう」	9:00～12:00	美笹公民館	生涯学習課
		〔市民大学・公民館人生100 年応援コース〕元気に歩いて 見つけよう！美笹の魅力	正しい歩き方を身につけて美笹地区の川や施 設、文化財をめぐる。(1回目:全4回)	9:30～11:00	美笹公民館	生涯学習課
		子どもたちでチャレンジおいし い料理づくり教室	子どもたちで協力して簡単な料理を楽しく作りま す。	10:00～13:00	新曽公民館	生涯学習課
		リラックスヨガ	ヨガで筋力と柔軟性をアップ、顔ヨガもやります。 初心者大歓迎。	10:00～11:30	下戸田公民館	生涯学習課
		学校公開日(戸田東小)				
6	日	名人に学ぶ 伝承あそびチャ レンジ!	コマ名人やあそびの達人からコマ回しやけん玉 等を学び、子どもたちへ伝承あそびを伝える人 材を育成する。(2回目:全3回)	13:30～15:00	美笹公民館	生涯学習課
7	月	姿勢を整えるピラティス 入門講座	ピラティスの基本を学び、身体能力を上げ、持久 力をつける。	10:00～11:30	新曽公民館	生涯学習課
		新人二市県南大会				
8	火	就学時健康診断 (戸南小)				
9	水	おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	11:00～11:30	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
		〔市民大学講座〕 歴史講座	ちちぶ学(秩父の地質・気候・歴史・名産・祭り等)	13:30～15:30	新曽公民館	生涯学習課
		学校訪問(喜沢中)				
10	木	託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、 学習ができるように、保育士が子どもを預かる	9:30～10:20 10:30～11:20 11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
		英語でポップスを歌おう～発 音・歌唱指導もあります～	懐かしのオールディーズを中心に楽しく英語の歌 を歌う	14:00～15:30	下戸田公民館	生涯学習課
		新人陸上県大会～11日				
11	金	赤ちゃんおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など	10:30～12:00	あいバル2階 和室	生涯学習課
		小学校前期終業式				
12	土	おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
		子供映画会	「なかよしおばけ」(42分) 「こぶとりじいさん」(10分)	10:30～11:30	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
		ヤゲンでものをすりつぶそう	金属・木の2種類のヤゲンを使って ものをすりつぶす	10:00～11:00 11:00～12:00	郷土博物館	生涯学習課
		家庭教育講演会	睡眠の質を上げよう～良い眠りがこどもの心と体 を育てる～	14:00～15:30	戸田市役所 5階会議室	生涯学習課
		ウクレレ入門	ウクレレの基本を学び、楽しくメロディーを奏で る。(2回目:全4回)	10:00～11:30	美笹公民館	生涯学習課
		リラックスヨガ	ヨガで筋力と柔軟性をアップ、顔ヨガもやります。 初心者大歓迎。	10:00～11:30	下戸田公民館	生涯学習課

日	曜日	会議名	内 容	時 間	場 所	主管課	
		スマホ・パソコン質問コーナー	パソコン・スマートフォン・タブレット等の基本操作などの各種IT相談。	13:00～16:00	下戸田公民館	生涯学習課	
13	日	昆虫ウォッチング:秋	彩湖周辺の昆虫と自然の観察をする	10:00～12:00	彩湖自然学習センター	生涯学習課	
		秋の星をさがそう	秋の星空を楽しむ	17:30～19:30	彩湖自然学習センター	生涯学習課	
14	月						
15	火	小学校後期始業式					
		学校訪問(新曾中)					
16	水	おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館視聴覚室	生涯学習課	
		〔市民大学講座〕 歴史講座	ちちぶ学(秩父の地質・気候・歴史・名産・祭り等	13:30～15:30	新曾公民館	生涯学習課	
		林間学校(新曾小)～198					
		就学時健康診断 (戸東小・新曾北小)					
		二市駅伝大会		9:00～12:00	道満グリーンパーク		
17	木	託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	9:30～10:20 10:30～11:20 11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館視聴覚室	生涯学習課	
		小学校陸上運動会		13:00～15:00	市スポーツセンター		
18	金	赤ちゃんおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など	10:30～12:00	あいパル2階和室	生涯学習課	
		就学時健康診断 (戸一小)					
19	土	おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館視聴覚室	生涯学習課	
		〔公民館人生100年応援コース〕 元気に歩いて見つけよう！ 美笹の魅力	正しい歩き方を身につけて美笹地区の川や施設、文化財をめぐる。(2回目:全4回)	9:30～11:00	美笹公民館	生涯学習課	
		リラックスヨガ	ヨガで筋力と柔軟性をアップ。顔ヨガもやります。初心者大歓迎。	10:00～11:30	下戸田公民館	生涯学習課	
		身体障害者福祉のための児童生徒美術展 中央展～20日			文化会館		
20	日	第2回こども自然クラブ	自然とふれあいながら生きもののすばらしさや面白さを知る	10:00～12:00	彩湖自然学習センター	生涯学習課	
		ハロウィンおはなし会	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ミニゲームなど。仮想しての参加可。	10:30～11:30	あいパル3階研修室、上戸田分館	生涯学習課	
		名人に学ぶ 伝承あそびチャレンジ！	コマ名人やあそびの達人からコマ回しやけん玉等を学び、子どもたちへ伝承あそびを伝える人材を育成する。(3回目:全3回)	13:30～15:00	美笹公民館	生涯学習課	
		絵本カフェ～絵本のちょっとした話～	絵本をテーマにおしゃべりを楽しめます。今回は、「桃太郎」を深掘します！	14:00～15:30	あいパル2階キッチンスタジオ	生涯学習課	
		スマホ・パソコン質問コーナー	パソコン・スマートフォン・タブレット等の基本操作などの各種IT相談	13:00～16:00	新曾公民館	生涯学習課	
21	月	姿勢を整えるピラティス入門講座	ピラティスの基本を学び、身体能力を上げ、持久力をつける。	10:00～11:30	新曾公民館	生涯学習課	
		就学時健康診断 (美谷本小)					
22	火	絵本の読み聞かせ広場	絵本の読み聞かせ・紙芝居等	10:30～11:30	下戸田公民館	生涯学習課	
		就学時健康診断 (笹目小・喜沢小)					
23	水	おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	11:00～11:30	中央図書館視聴覚室	生涯学習課	
		就学時健康診断 (戸二小)					
24	木	託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	9:30～10:20 10:30～11:20 11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館視聴覚室	生涯学習課	
		英語でポップスを歌おう～発音・歌唱指導もあります～	懐かしのオールディーズを中心に楽しく英語の歌を歌う	14:00～15:30	下戸田公民館	生涯学習課	

日	曜日	会議名	内 容	時 間	場 所	主管課
		就学時健康診断 (芦原小)				
25	金	みんなでバルるんひろば	前半は絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など。 後半は保護者同士の交流や、保健師への相談、 司書への絵本の相談	10:00～11:30	あいバル3階 軽体育室	生涯学習課
		就学時健康診断 (笹目東小・美女木小)				
		芦原小学校訪問				
26	土	ウクレレ入門	ウクレレの基本を学び、楽しくメロディーを奏で る。(3回目:全4回)	10:00～11:30	美笹公民館	生涯学習課
		おはなしの部屋	読み聞かせ、昔話などの語り	15:30～16:00	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
		リラックスヨガ	ヨガで筋力と柔軟性をアップ。顔ヨガもやります。 初心者大歓迎。	10:00～11:30	下戸田公民館	生涯学習課
		彩の国教育の日 (中学校学校公開日)	学校公開(戸東中・新曽中・笹目中)体育祭(戸 田中・美笹中)合唱祭(喜沢中)			
27	日	植物ウォッチングにでかけよ う:秋	講師の解説を聞きながら普段は入れない保全 ゾーンを植物を観察する	10:00～12:00	彩湖自然 学習センター	生涯学習課
28	月					
29	火	就学時健康診断 (新曽小)				
		学校訪問(戸一小)				
30	水	フレッシュ短歌講座 「ふれてみよう詠んでみよう」	市内の歌人・高柳路子さんを講師に、短歌のつく り方を学ぶ。現代短歌の鑑賞や実作も行う。(1 回目:全4回)	10:00～12:00	美笹公民館	生涯学習課
		歴史ガイドとめぐる街歩き～地 元下戸田地区を再発見～	地元下戸田地区にある歴史的建造物や神社、仏 閣などを歴史ガイドの説明を受けながら散策しま す。	13:30～15:30	下戸田公民館	生涯学習課
		おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
31	木					

教育委員提案

令和6年第9回教育委員会(定例会)

令和6年9月19日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

1 教育委員提案

ページ

I R Tを活用した子供の学力の伸び率について…………… 1
(教育政策室)

防災教育について…………… 2 0
(教育政策室)

令和6年9月 教育委員提案

IRTを活用した子供の学力の伸び率について

戸田市教育委員会
教育政策室

埼玉県学力・学習状況調査について

目 的

児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

調査の対象

県内市町村教育委員会、小・中学校及び義務教育学校並びに小・中学校及び義務教育学校に在籍する児童生徒

埼玉県学力・学習状況調査について

調査の内容（児童生徒に対する調査）

（１）教科等

実施学年	調査の内容
小学校４年生から６年生	国語・算数
中学校１年生	国語・数学
中学校２年生から３年生	国語・数学・英語

質問調査

出題範囲は、調査を受ける前の学年までに学習した内容

（２）調査のスケジュール

令和６年４月２４日（水）から５月２２日（水）

令和６年度から県内全ての学校がCBTで調査を実施

CBT...一人一台端末を活用した調査

埼玉県と全国の学力・学習状況調査の違い

埼玉県学力・学習状況調査	項目	全国学力・学習状況調査
小学校4年～中学校3年	対象	小学校6年、中学校3年
個々の子供たちの 学力の伸び や 非認知能力等の把握 から、教育施策や指導の工夫改善を図り、 一人一人を伸ばす 。	ねらい	義務教育の機会均等 や 水準の確保の検証 。学校における 児童生徒への教育指導の充実 や 学習状況の改善 等に役立てる。
非公開 子供たちの学力を図るために年度をまたいで同じ問題を出題する可能性があるため。	問題	公開 学習指導要領が目指す資質・能力の育成を踏まえた、具体的なメッセージ。
昨年度からの「 学力の伸び 」や 学習方略・非認知能力 に基づいて、授業改善の資料とする。	結果の取扱い	全国や県の平均正答率 が公表されるので、各市町村や各学校は、それぞれの状況を把握する。
県主催の市町村向け活用法研修会を実施。各教科の結果や意識調査の結果をまとめた報告書を作成。	解説・資料報告集	報告書に出題の趣旨、解説、回答類型等が記載。授業アイデア例も作成。

埼玉県学力・学習状況調査の特長

小4から中3まで、同じ子供を継続的に調査

< 個の学力の伸びを把握できる >

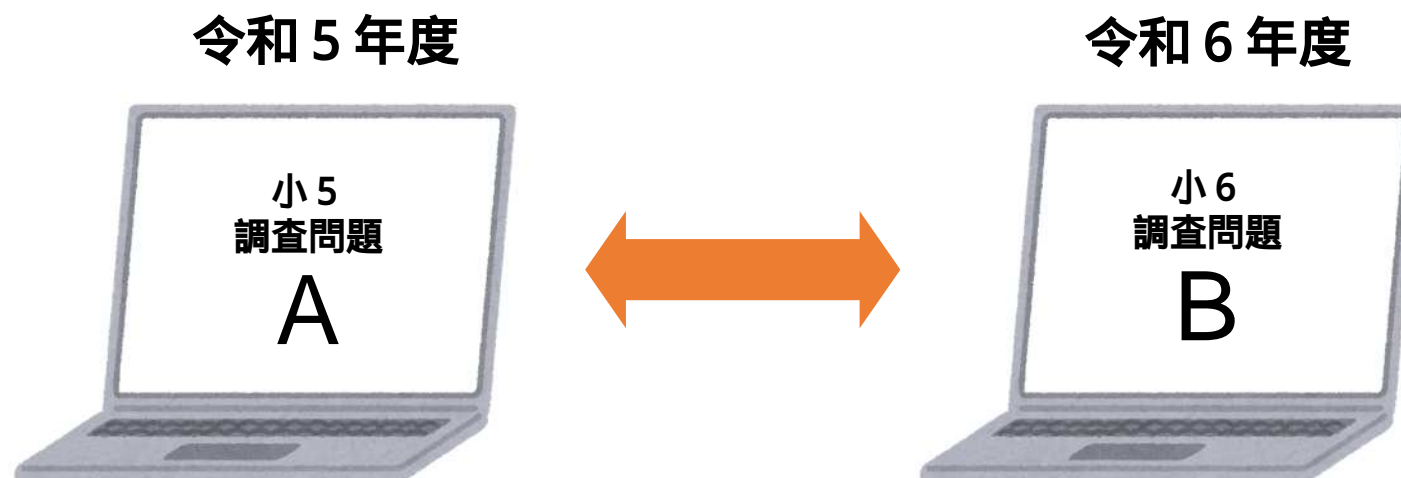


					国語			算数・数学			
					R6レベル	昨年度からの学力の伸び	R5レベル	R6レベル	昨年度からの学力の伸び	R5レベル	
R6在籍情報					学校平均						
市町村平均					7-C	1	6-A	6-B	1	6-C	
個人番号	学年	組	出席番号	性別	埼玉県平均	7-C	0	7-C	6-B	1	6-C
						8-C	0	8-C	9-B	4	8-C
						4-B	0	4-B	3-A	0	3-A
						7-C	4	5-A	5-C	0	5-C
						4-B	1	4-C	3-C	1	2-A
						6-B	1	6-C	5-A	3	4-A
						8-C	1	7-A	8-A	2	7-B
						8-C	7	5-A	7-A	3	6-A
						5-A	2	5-C	7-C	1	6-A

帳票40 (参考)

埼玉県学力・学習状況調査の特長

異なる学年、異なる年度の調査でも比較可能



- 各問題の難易度を設定
- A・Bに同一問題を入れる（問題は非公表）
学力を測るものさし【有】

学力の経年変化、**測定可**

埼玉県学力・学習状況調査の特長

非認知能力や学習方略にも注目

認知能力

いわゆる学力であり、
たし算、漢字の読み書き、
文章題、図形の把握等

非認知能力
認知能力ではない
能力全般



(県学力・学習状況調査で測っている非認知能力の例)

一部の学年	自制心	イライラしない 心の平静を保てる など
全学年	自己効力感	自分への自信
一部の学年	勤勉性	やるべきことをきちんとやる など
一部の学年	やりぬく力	粘り強い、根気がある など
一部の学年	向社会性	他者を助けようとする

学習方略とは...学習の効果を高めるために子供が意図的に行う活動

柔軟的方略

学習の仕方を自分の
状況に併せて柔軟に
変更していく活動

<状況>
勉強の順番を変えたり、
わからないところを重点的に
学習したりする など

プランニング方略

計画的に学習に取り
組む活動

<状況>
勉強を始める前に計
画を立てる など

作業方略

ノートに書く、声に
出すといった、「作
業」を中心に学習を
進める活動

<状況>
大切なところを繰り返し
書き返す など

認知的方略

より自分の理解度を
深めるような学習活
動

<状況>
勉強した内容を自分
の言葉で理解する など

努力調整方略

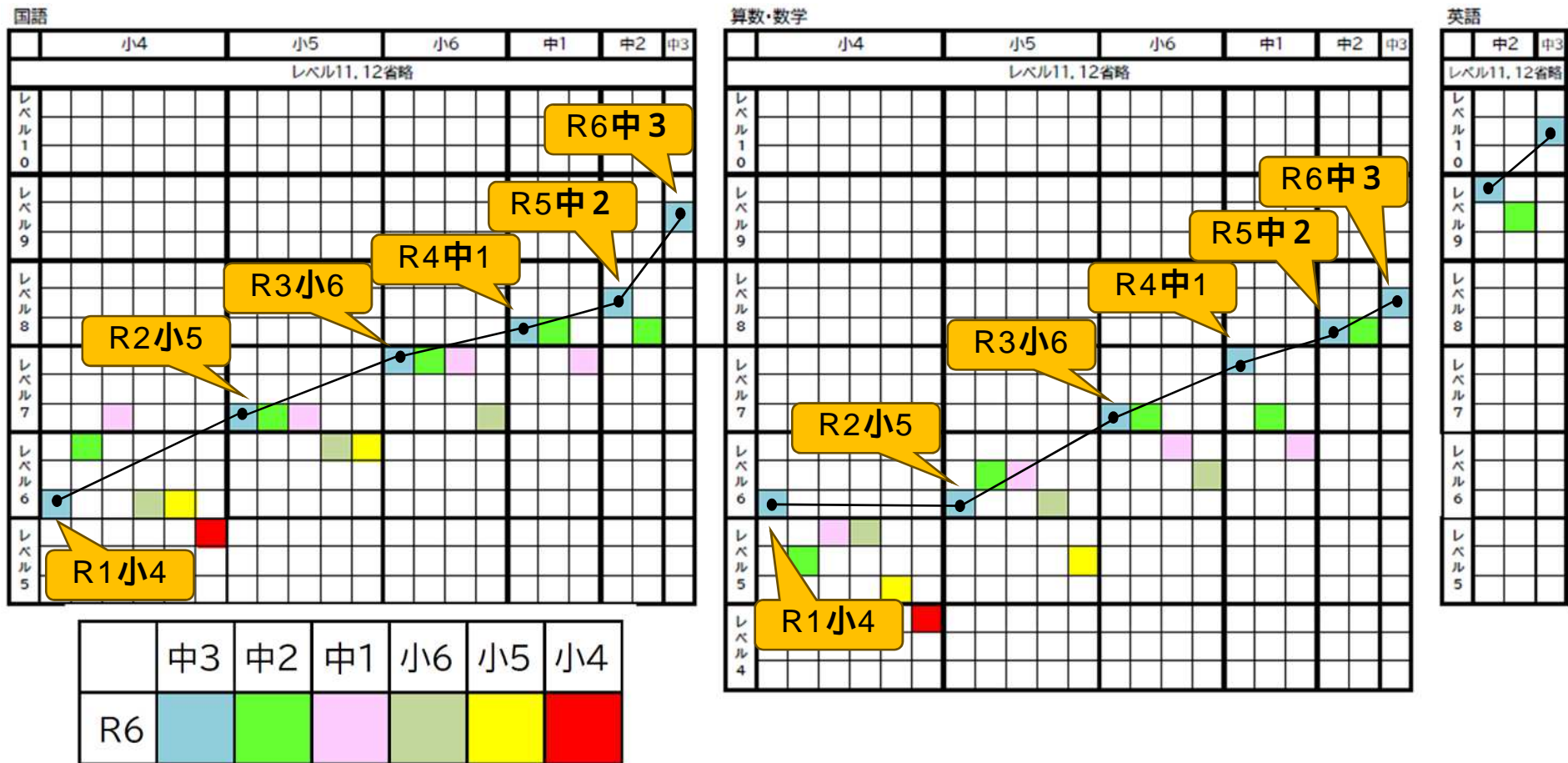
「苦手」などの感情
をコントロールして
学習して学習への動
機を高める活動

<状況>
わからないところも
あきらめずに継続し
て学習する など

埼玉県学力・学習状況調査で測っている学習方略

戸田市の子供の学力の経年変化について

R1 ~ R6の学力のレベルの推移



現中3生の「学力のレベル」の経年変化

戸田市の子供の学力の経年変化について

R1 ~ R6の学力のレベルの推移

国語

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
レベル11, 12省略						
レベル10						
レベル9						■
レベル8				■	■	■
レベル7		■	■	■	■	■
レベル6	■	■	■	■	■	■
レベル5					■	

算数・数学

	小4	小5	小6	中1	中2	中3
レベル11, 12省略						
レベル10						
レベル9						
レベル8					■	■
レベル7		■	■	■	■	■
レベル6	■	■	■	■	■	■
レベル5		■	■	■	■	■
レベル4					■	

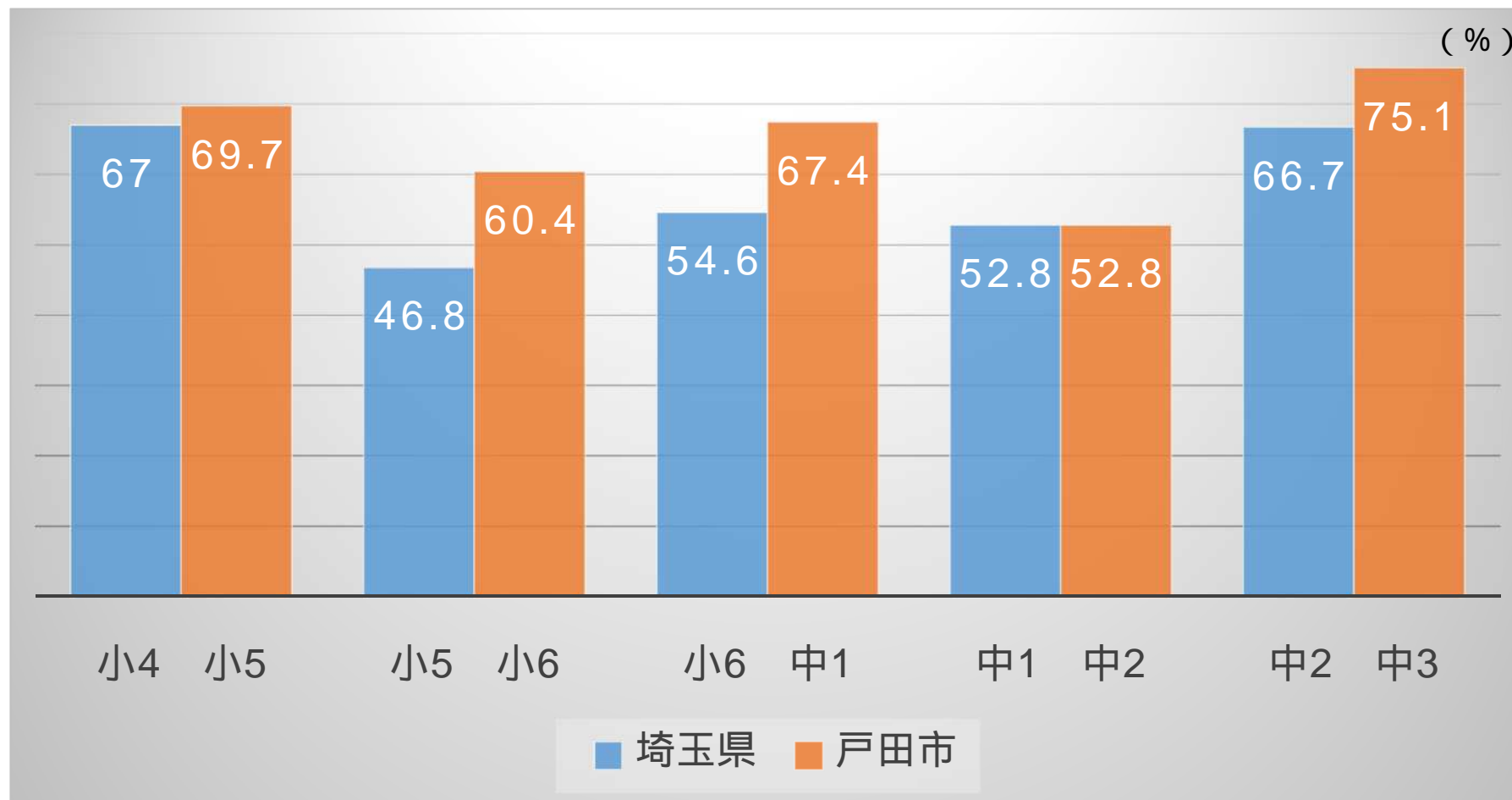
英語

	中2	中3
レベル11, 12省略		
レベル10		■
レベル9	■	■
レベル8		
レベル7		
レベル6		
レベル5		

	中3	中2	中1	小6	小5	小4
R6	■	■	■	■	■	■

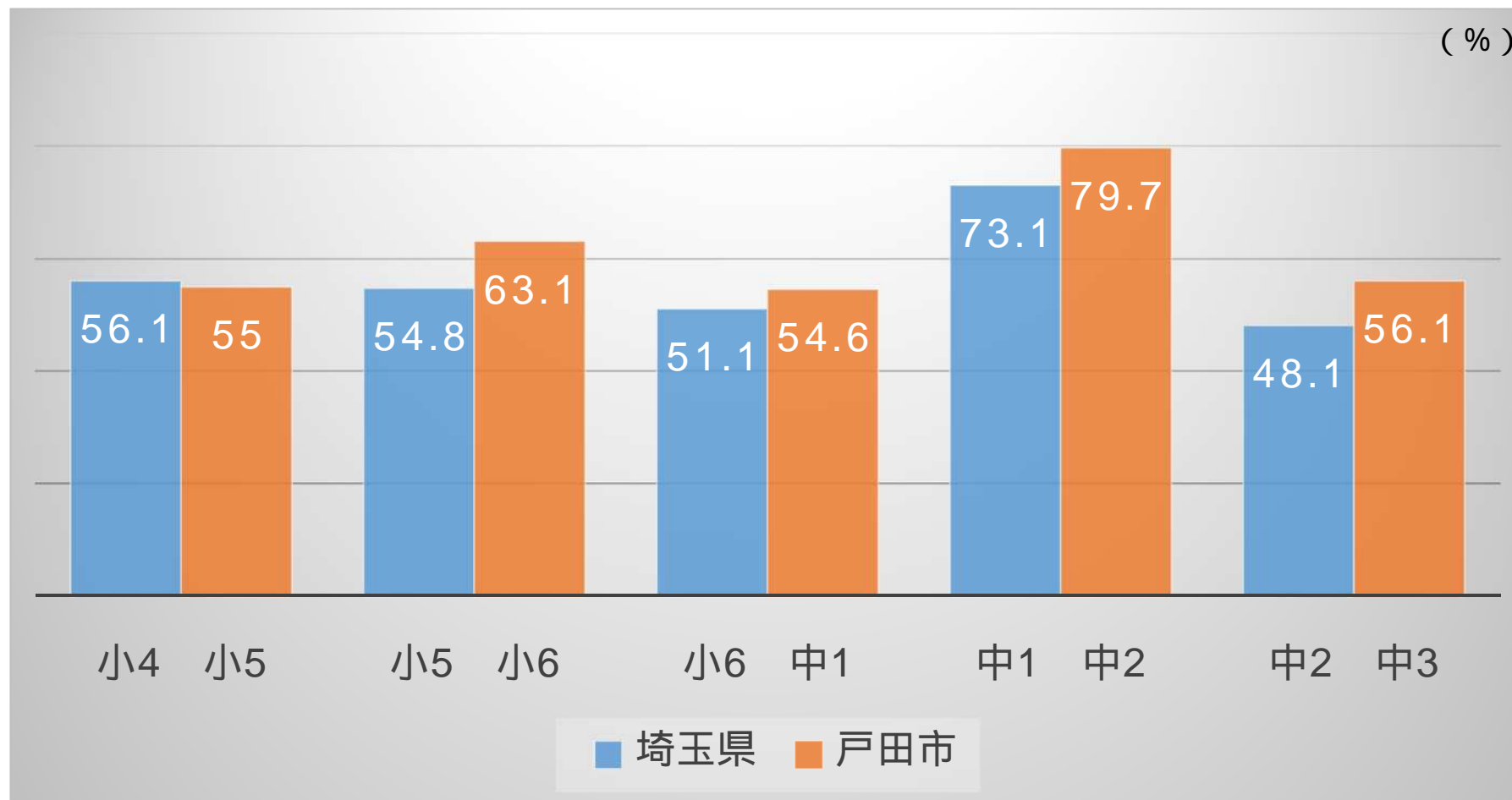
戸田市の子供の学力の伸びについて

R6 学力を伸ばした児童生徒の割合（国語）



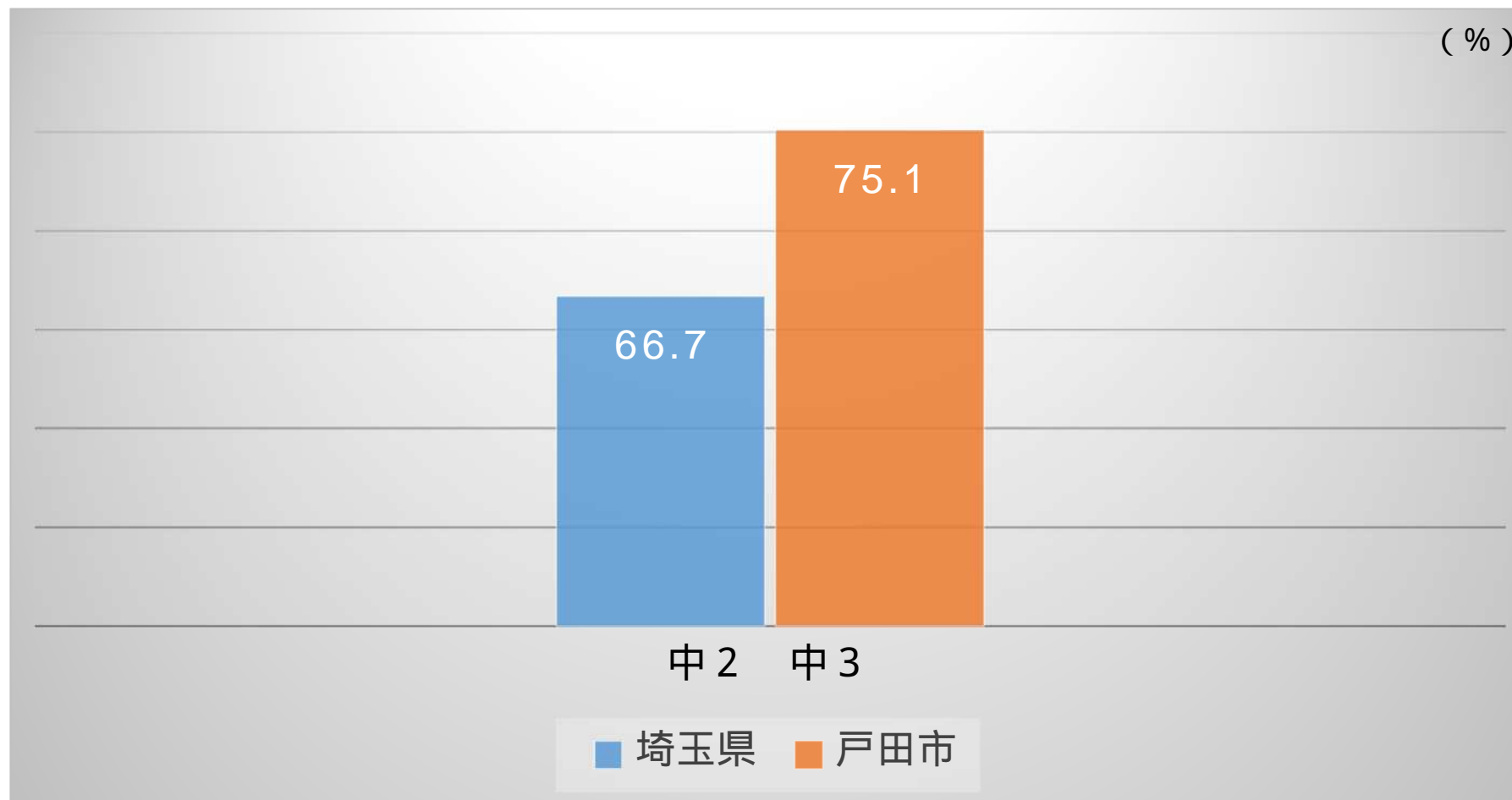
戸田市の子供の学力の伸びについて

R6 学力を伸ばした児童生徒の割合（算数・数学）



戸田市の子供の学力の伸びについて

R6 学力を伸ばした児童生徒の割合（英語）



戸田市の子供の学力の伸びの状況について

【学力のレベルの経年変化】

- ✓ ほぼ全ての学年・教科で、学年が上がるごとに着実な「学力の伸び」が見られる。

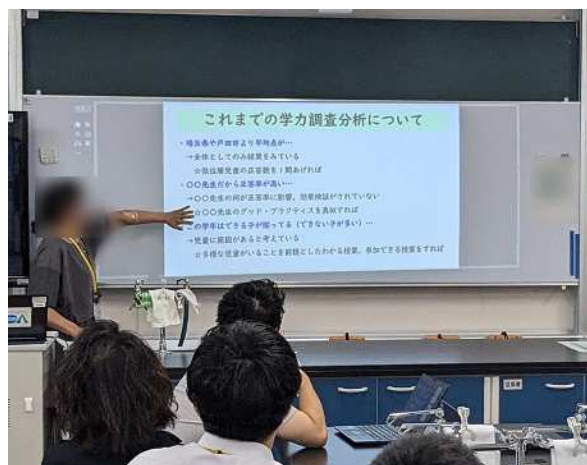
【学力を伸ばした児童生徒の割合】

- ✓ 国語では、約60%以上の児童生徒に学力の伸びが見られる。特に、中3では約75%の生徒が学力を伸ばしている。
- ✓ 算数・数学では、約50%以上の児童生徒に学力の伸びが見られる。特に、中2では約80%の生徒が学力を伸ばしている。
- ✓ 英語では、約75%の生徒に学力の伸びが見られる。

埼玉県学力・学習状況調査を活かした取組

【結果を子供に還元する】

- ✓ 市内各小・中学校で県学調の分析を実施
- ✓ 個々の児童生徒の伸び、学習方略を確認
- ✓ 伸びていない児童生徒への支援策を検討・計画

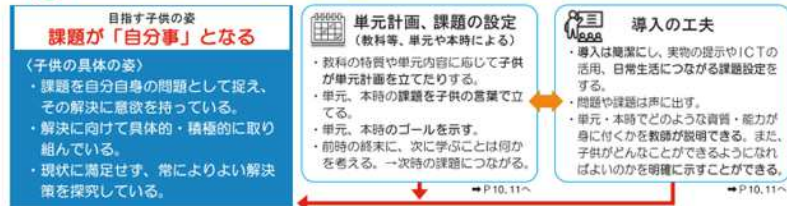


埼玉県学力・学習状況調査を活かした取組

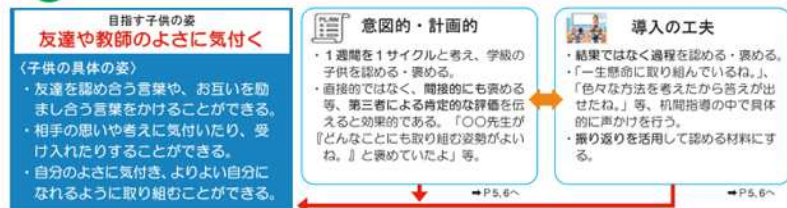
グッドプラクティスから見える、授業改善のポイント

埼玉県学力・学習状況調査の結果から児童生徒の学力を特に伸ばした「教科担当」「学級担任」を抽出し、その教師の「質問紙調査」における質問項目を調査したところ、共通して以下3つの項目に最も力を入れていることがわかった。子供の学力を伸ばした教師の取組（グッドプラクティス）を参考にすること。

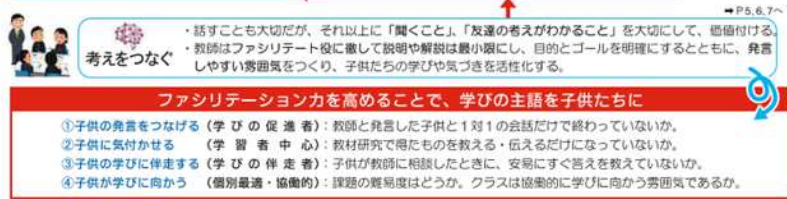
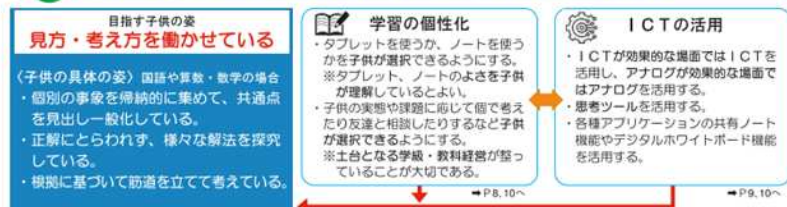
1 本時の課題を正しく伝え、子供に見通しをもたせること



2 子供一人一人の伸びや変容を気にかけて、積極的に認め褒めること



3 子供の考えを広げ深められるよう、教具を工夫して用いること



【結果を授業改善に活かす】

子供の学力を伸ばした教師の取組に注目

児童生徒の学力を特に伸ばした「教科担当」「学級担任」を抽出

の教師から、取組を聞き取り調査

効果的な取組を市全体で共有を図る

戸田市【令和6年度指導の重点・主な施策】から抜粋

<https://www.toda-c.ed.jp/uploaded/attachment/20403.pdf>

埼玉県学力・学習状況調査を活かした取組

【認知的方略を生かした取組例】

- ・ 認知的方略が高い集団には、**話合いや発表する場を多く設定することで、より学習内容を定着させる。**
- ・ 認知的方略に課題が見られる集団には、**発表内容のヒントカードを用意することで、より学習内容を定着させる。**

認知的方略

より自分の理解度を深めるような学習活動

<状況>

勉強した内容を自分の言葉で理解するなど



埼玉県学力・学習状況調査を活かした取組

【学習状況を把握した個別の支援】

- ・ 県学調の数値をもとに、**日頃の学習の成果を価値づける。**
- ・ 不得意な科目・領域について、**伸びを認め、本人の学習意欲の向上につなげる。**
- ・ 経年の変化で伸びが見られない領域においては、**つまずきの原因を探り、個に応じた指導につなげる。**



埼玉県学力・学習状況調査を活かした取組

【県学調復習シートを活用した課題の克服】

- ・ 県HP掲載の復習シートを活用しながら、**個々の苦手分野を伸ばす**。AIドリル等も活用し、指導の個別化を図る。

【個人結果票の返却】

- ・ 個人の伸びや正答状況を**面談を通して、本人・保護者に伝達し、家庭との連携を図る**。



令和6年9月 教育委員提案

防災教育について

戸田市教育委員会
教育政策室

安全教育の目標

日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命の尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるように、安全に関する資質・能力を育成する。

現代的な諸課題に対応して求められる
資質・能力の一つ

安全に関する資質・能力

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

安全に関する様々な課題に関心を持ち、主体的に自他の安全な生活を実現しようとしたり、安全で安心な社会づくりに貢献しようとしたりする態度を身に付けていること。

生きて働く知識・技能の習得

様々な自然災害や事件・事故等の危険性、安全で安心な社会づくりの意義を理解し、安全な生活を実現するために必要な知識や技能を身に付けていること。

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

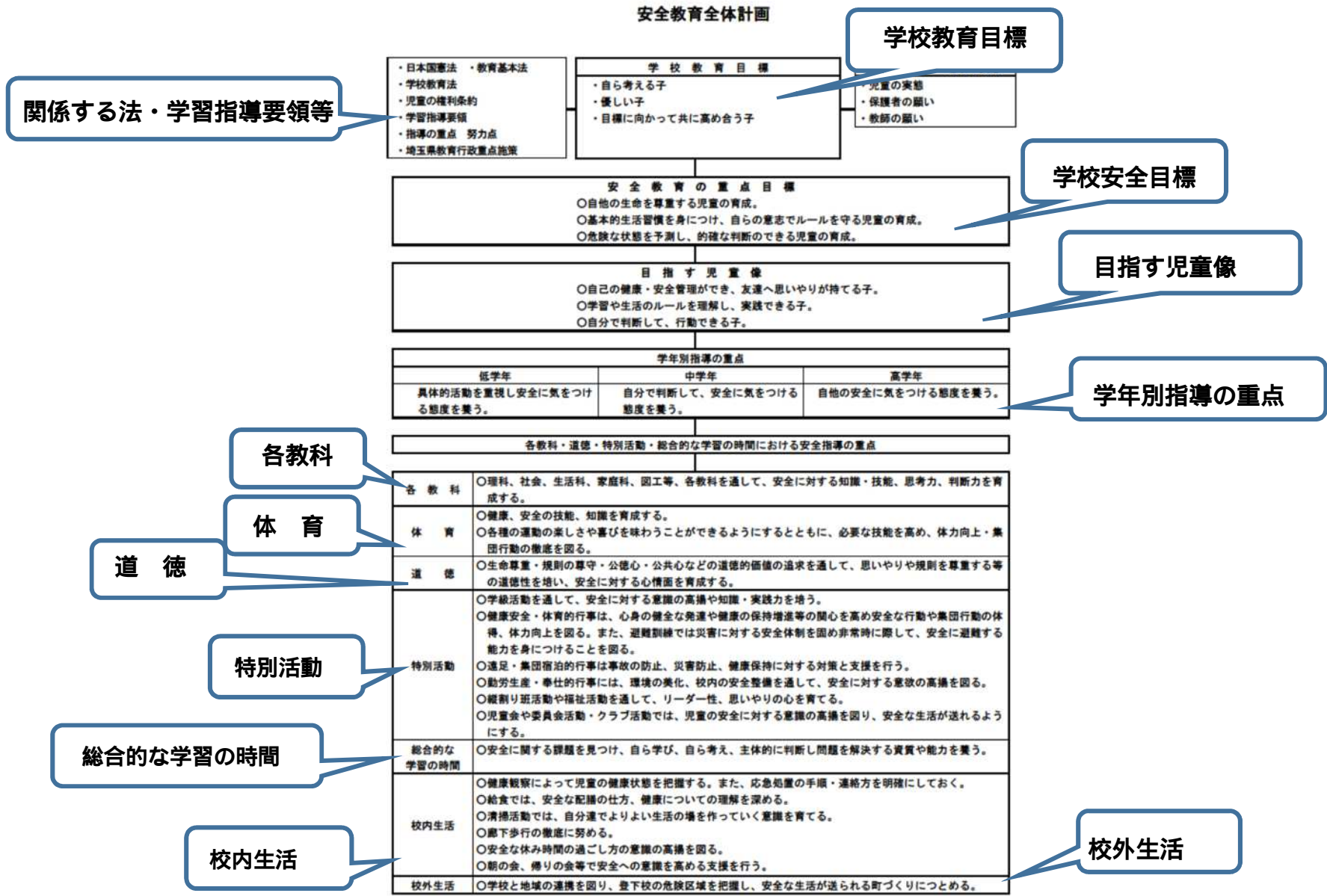
自らの安全の状況を適切に評価するとともに、必要な情報を収集し、安全な生活を実現するために何が必要かを考え、適切に意思決定し、行動するために必要な力を身に付けていること。

県の取組

- 1 「学校安全」を学校経営に明確な位置づけ
- 2 「学校安全計画」及び「危機管理マニュアル」の見直し
- 3 安全担当職員を中心とした、マニュアル等を見直すサイクルの調整
- 4 学校安全計画に位置付けた、安全教育に関する時間の確保
- 5 防犯に係るマニュアル（不審者対応訓練）の再確認と全教職員への周知徹底

全体計画

安全教育全体計画



年間指導計画

※学級活動の欄の ◎＝1 単位時間程度の指導 ・短い時間の指導

項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月の重点		通学路を正しく歩こう	安全に休み時間を過ごそう	梅雨時の安全な生活をしよう	自転車のきまりを守ろう	災害時の正しい行動をしよう	夏休みのきまりを守ろう	秋の収穫祭の準備をしよう	けがをしないように運動しよう	安全な冬の生活をしよう	災害(不審者)から身を守ろう	道路標識を守ろう	安全な生活ができるようにしよう
道徳		公正、公平・社会主義		勤労・公共の精神		節度・節制		友情・信頼		生命の尊さ		礼儀	
安全	生活	・地域探検時の交通安全 ・移転べら、スコップの使い方	・野外観察の交通安全 ・移転べら、スコップの使い方	・公園までの交通安全 ・道具の使い方	・虫探し、お店探検時の交通安全	・はさみ、カッターナイフの使い方	・たけひご、つまよじの使い方	・校外学習時の安全	・はさみ、ステープラーの使い方	・カッターナイフの使い方	・ガスコンロの使い方	・移転べらの使い方	
	理科	・野外観察時の交通安全 ・アルコールランプ、虫眼鏡、移転べらの使い方	・カバーガラス、スライドガラス、プラスチックの使い方	・スコップ、ナイフの使い方	・教科における安全教育	・ゴム風船	・鏡、凸レンズ、ガラス器具の使い方	・バーナー、蒸発皿の使い方	・針金、プラスチックの使い方	・塩酸、水酸化ナトリウムの取り扱い			
	図工	・はさみ、カッターナイフ、絵の具、接着剤の安全な使い方	・絵を描く場所の安全な選定 ・コンパスの安全な使い方	・のこぎり、小刀、金鋸、釘抜き、釘の使い方	・木槌、ゴム、電動のこぎり、ニスの使い方	・プールでの船の安全な浮かべ方	・彫刻刀の管理の仕方と使い方	・ラッカー、シンナーの取扱い	・竹ひご、細木の使い方	・小刀の管理の仕方と使い方	・陶器作成時の注意	・共同作品制作時の安全	
	家庭	・針、はさみの使い方	・アイロンの使い方	・食品の取扱い	・包丁の使い方	・実習時の安全な服装の選び方	・熱湯の安全な取扱い	・ミシンの使い方	・油の安全な取扱い	・ガスコンロの使い方	・調理用具の使い方	・調理器具の安全な使い方	
	体育	・固定施設の使い方 ・運動する場の安全確認	・鉄棒運動時の安全	・水泳時の健康観察 ・水泳時の安全(心得) ・着衣泳	・集団演技、集団行動の安全	・マット、跳び箱運動時の安全	・けがの防止(保健)	・持久走時の安全	・ボール運動時の安全	・跳躍運動時の安全	・固定施設利用時の安全		
総合的な学習の時間		※安全に関するテーマ、課題等について											
教育	低学年	・通学路の確認 ◎安全な登下校 ・安全な給食配膳 ・子ども110番の家	・休み時間の約束 ◎防災(避難)訓練時の安全 ・遠足時の安全	・雨天時の安全な過ごし方 ◎プールの約束 ・遊び場や行き帰りの安全	・夏休みの約束 ◎校外での安全 ・落雷の危険 ・水辺の危険	◎災害時の正しい行動の仕方 ・安全な集団行動 ・「おかしも」の約束	◎乗り物の安全な乗り降りの仕方 ・廊下の安全な歩行の仕方	◎校庭や体育館、屋上の使い方のきまり ・運動時の約束	・安全な服装 ・冬の道路の歩き方 ◎冬休みの安全な過ごし方	・「おかしも」の約束 ◎危ないと感じたとき ・下校後の安全	◎身近な道路標識	・1年間の反省 ◎けがをしないために	
	中学年	・通学路の確認 ◎安全な登下校 ・安全な清掃活動 ・学区内の危険な場所	・休み時間の安全 ◎防災(避難)訓練への積極的参加 ・遠足時の安全	・雨天時の安全な過ごし方 ◎安全なプールの利用の仕方 ・子ども110番の家	・道路での自転車 ◎路外への避難の仕方	◎車内での安全な通 ・安全な服装	◎校庭等での安全な ・安全な服装	・凍結路の安全な歩き方 ◎冬休みの安全な過ごし方	・「おかしも」の約束 ◎安全な身支度 ・学区内の危険な場所 ・下校後の安全	◎自転車に関するある道路標識	・1年間の反省 ◎けがをしやすいつと場所		
	高学年	・通学路の確認 ◎安全な登下校 ・安全な委員会活動 ・交通事故から身を守る ◎身の回りの犯罪	・休み時間の事故とけが ◎防災(避難)訓練の意義 ・交通機関利用時の安全	・雨天時の事故とけが ◎水泳時の安全 ・防犯にかかわる方々	・自転車の点検と整備の仕方 ・夏休みの事故と防止策 ・落雷の危険	◎火災防止 ・避難場所での行動	◎乗車時の事故とけが ・運動時の事故とけが ◎校庭や体育館、屋上で起こる事故の防止	・道路凍結時の事故とけが ◎冬休みの事故とけが	◎災害時の携行品 ・安全な身支度、衣服の調節 ・学区内の危険な場所	◎交通ルール	・1年間の反省 ◎けがの種類と応急処置		
	児童会活動	・代表委員会 ・1年生を迎える会 ・委員会活動開始	・クラブ活動開始 ・朝の挨拶運動	・安全キャンペーン				・冬休みの約束	・新年を迎えて	・クラブ発表会 ・安全キャンペーン	・6年生を送る会		
安全管理	主な学校行事等	・入学式・一斉下校・健康診断 ・春の交通安全週間 ・避難訓練	・引き渡し訓練 ・運動会	・救急処置法講習会 ・夏季水泳指導	学校行事における安全管理			・不審者対応訓練 ・「雨小まつり」(学芸的行事) ・一斉下校	・書き初め大会 ・安全タイム(朝)	・卒業式 ・通学班編成 ・一斉下校			
	対人管理	・安全な通学の仕方 ・安全のきまりの設定	・固定道具の安全な使い方	・校舎内での安全な過ごし方 ・プール内での安全のきまりの確認	対物管理における安全管理			・凍結路の安全な歩き方	・緊急時の身の安全の守り方	・道路標識の種類と意味	・1年間の人的管理の評価、反省		
	対物管理	・通学路の安全確認 ・安全点検年間計画の確認、見直し	・学校環境諸設備の点検及び整備	・防災設備の点検、整備	学校安全に関する組織活動			・学校内の危険箇所の確認	・防災(防犯)用具の点検、整備	・学区内の安全施設の確認	・1年間の学校環境、安全点検の評価、反省		
学校安全に関する組織活動		・春の交通安全運動時の教職員、保護者の街頭指導	・校外における児童の安全行動把握、情報交換	・地域危険箇所点検 ・子ども110番を守る日(6月8日)	学校安全に関する組織活動			・年末年始の交通安全運動の啓発	・戸田市防災訓練参加への呼びかけ	・地域交通安全パトロール ・学校保健委員会の実施	・交通事故ゼロ運動の啓発		

学校の取組（避難経路確認及び避難訓練）

避難経路確認及び避難訓練

- 1 **ねらい**
- 児童に地震および火災発生時の基本的な行動を理解させ、その態度や能力を身につけさせる。
（今回は**静かに放送を聞くこと、避難経路を確認すること**に重点を置く。）
 - 教師が地震および火災発生時の役割を理解し、児童を安全かつ迅速に避難させるための行動を確認する。

ねらい

- 2 **日時** 【時数は学校行事1時間でカウント】
令和6年4月24日（水） 10:50～11:15 避難訓練
11:20～ 「C4th Home&School」配信
※「C4th Home&School」の新1年生の登録用紙は 日～ 日に出る予定。

日時

- 3 **場所** 校庭（雨天時は、一次避難後、各クラスで避難経路の確認を行う。）

場所

4 実施概要と展開

【概要】

- 新1年生および、他学年の児童が新しい教室からの避難経路を確認する。
- 「C4th Home&School」配信を行い、各学級の登録状況を把握する。（未登録の家庭に登録を促す。）
※事前にアプリ登録ができていない家庭の把握をしておく。

実施概要と展開

【事前指導】

- 安全な身の守り方や避難の仕方を指導する。（お・か・し・も・ち）
- 休み時間の他、清掃時など教師が近くにいない場合も同じよう行動することを理解させる。
- 火災時の避難経路を確認する。（避難経路A ※危機管理マニュアル参照）
- 男女別名前順2列の並び方を確認しておく。
- ハンカチの準備

事前指導

5 訓練の展開

時間	本部の動き	教師の動き	児童の動き
10:50	①緊急地震速報、地震音（教務） ②一次避難の指示 ・本部長（校長） ・緊急放送（教頭）	緊急地震速報	
	「訓練、訓練。ただいま緊急地震速報が出ました。落ち着いて机の下、もしくは安全な場所に避難しなさい。」（繰り返す）		

訓練の展開

学校の取組（引き渡し訓練）

- 1 日時 令和6年6月8日（土）
- 12:45 Home&School配信 ※訓練メールを送信します
 - 13:20 避難訓練開始（児童）
 - 13:45～ 引き渡し訓練開始 ※この時間を目途に来校ください
 - 14:15 引き渡し終了

日時

- 2 場所 校庭（※ 雨天及び猛暑時 → 各教室で実施）
- ※雨天、猛暑により各教室へ変更する場合は、Home&Schoolで連絡しますので御確認をお願いします。

場所

- 3 方法（流れ：裏面の図も参照ください）
- 小学生の兄弟がいる場合、上のお子様の引き取りからお願いします。
 - 引き取りに来られた方は、児童の移動が終了するまで保護者待機場所でお待ちください。児童の移動が終わりましたら、各クラスの前に1列に並び、順番をお待ちください。その後は以下のとおり実施します。

方法

- ① 引き取り者は、担任に児童名・児童との関係を告げます。
- ② 児童が「ぼくの（わたしの）母（父・など）です。」と答えます。事前に御家庭でもお子様と確認ください。
- ③ 引き取り者は、家族の場合は○、それ以外の方は名簿にサインをします。
- ④ 担任が児童を引き渡します。
- ⑤ 引き取り後は、他の場所に立ち寄らずそのまま下校します。（安全確保のため）

【注意】保護者以外の方への引き渡しは、①4月に提出いただいた「児童家庭連絡票」の「大規模災害等で連絡不可能な場合に引き取り可能な家族以外の方」欄に記入いただいた方、②または事前に連絡帳で連絡があった方のみ可能です。

学校の取組（休み時間）

1 ねらい

- ・休み時間における地震発生時およびその後の火災についての基本的な行動を理解し、自ら判断して、安全で落ち着いた避難をするための態度や能力を養う。（児童）
- ・休み時間における地震発生時、火災発生時の役割を理解し、児童を安全かつ迅速に避難させるための支援を確認する。（教師）

ねらい

2 日時 令和5年12月13日（水）お昼休み～第5校時（児童には知らせない）

※ 雨天の場合は校庭には避難せず、一次避難まで 時間帯は同上

※ 授業時数：学校行事0.5時間

日時

3 想定

業間（お昼休み）に震度5の地震が発生する。児童は教室や校庭などで休み時間を過ごしている。その後、二次被害として校内で火災が発生し、全児童を校庭に避難させる。

想定

4 事前指導

- ・12月5日（火）～12日（火）までにパワーポイント資料を各学級必ず見せる。必要に応じてタブレットのデスクトップに動画を張り付けておく。
- ・安全な身の守り方や避難の仕方を指導する。（落ちてこない、倒れてこない、移動してこない）

事前指導

- ・休み時間の他、清掃時など教師が近くにいなくても同じよう行動することを理解させる。
- ・火災時の避難経路を確認する（避難経路A）
- ・男女混合名前順2列の並び方を確認しておく。
- ・児童にハンカチを毎日持って来るよう伝えておく。

5 指導上の留意点

- ・低学年は場所ごとの避難の手順を理解できるようにする。
- ・中学年以上は、場所ごとの避難の手順を自ら判断できるようにする。
- ・学校・学年便り等で訓練の日程は伝えないようにする。（12月中に実施することは伝える）
- ・各学年必ず事前指導を入れる。（日頃行う避難訓練の意味や、本来の避難の際に自分の教室に戻らないこと・靴を履き替えないこと等も含む）

指導上の留意点

6 訓練の展開

（晴天時）

時間	本部の動き	教師の動き	児童の動き
13:40	・緊急地震速報、地震音		
	緊急地震速報		

訓練の展開

防災教育の実践例（避難訓練）



防災教育で学習すべき事項

災害について正しく知る

災害に対して備える

いざというときに的確に行動
できる

防災を含む安全に関する教育

総則	体育科	特別の教科 道徳	理科	社会科
<p>総則</p> <p>健康・安全を確保するための基礎となること。</p> <p>第5 学校生活の安全確保</p> <p>1 教育課程及び実施に当たっては、学校における安全確保の目的、目的、方針、実施方法、実施時期、実施場所、実施担当者、実施の進捗状況、実施の評価等について、効果的に実施すること。</p> <p>第6 防災教育</p> <p>1 防災教育は、防災に関する知識、技能、態度の育成を図ることを目的とする。</p> <p>2 防災教育は、防災に関する知識、技能、態度の育成を図ることを目的とする。</p> <p>3 学校や地域における防災教育の実施に当たっては、関係機関や団体と連携を図ること。</p>	<p>第5学年及び第6学年</p> <p>A 体づくり運動</p> <p>(3) 学校における体育・健康に関する指導を、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指す。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科、家庭科及び特別活動の時間をもとより、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などにおいて、それぞれの特質に応じて実施すること。</p> <p>体育科</p> <p>【特別の教科道徳第5学年及び第6学年】</p> <p>A 主として自分自身に関すること</p> <p>[節度、節制]</p> <p>安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。</p> <p>【特別活動】</p> <p>[学級活動]</p> <p>(2)ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成</p> <p>[学校行事]</p> <p>(3) 健康安全・体育的行事</p>	<p>【特別の教科道徳第5学年及び第6学年】</p> <p>A 主として自分自身に関すること</p> <p>[節度、節制]</p> <p>安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。</p> <p>【特別活動】</p> <p>[学級活動]</p> <p>(2)ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成</p> <p>[学校行事]</p> <p>(3) 健康安全・体育的行事</p>	<p>【理科・第5学年】</p> <p>B 生命・地球</p> <p>(3) 流れる水の働きと土地の変化</p> <p>ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(ウ) 雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があること。</p> <p>【社会科・第5学年】</p> <p>(5)ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 自然災害は国土の自然条件などに関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解すること。</p>	<p>【社会科・第5学年】</p> <p>(5)ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 自然災害は国土の自然条件などに関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解すること。</p> <p>【図画工作】</p> <p>図画工作は、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指す。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科、家庭科及び特別活動の時間をもとより、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などにおいて、それぞれの特質に応じて実施すること。</p>
	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>(2)ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成</p> <p>(3) 健康安全・体育的行事</p>	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>(2)ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成</p> <p>(3) 健康安全・体育的行事</p>	<p>【生活科】</p> <p>生活科は、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指す。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科、家庭科及び特別活動の時間をもとより、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などにおいて、それぞれの特質に応じて実施すること。</p>	<p>【図画工作】</p> <p>図画工作は、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指す。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科、家庭科及び特別活動の時間をもとより、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などにおいて、それぞれの特質に応じて実施すること。</p>

小学校学習指導要領(平成29年告示)総則

学習指導要領における防災教育として扱う項目

	学年・教科・種別	学習指導要領の見出し	学習内容
1	小学・総則	教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成	-
2	小4・社会・目的	自然災害から人々を守る活動	-
3	小4・社会・内容	自然災害から人々を守る活動	地域の共助・公助
4	小4・社会・内容	自然災害から人々を守る活動	地域の調べ学習
5	小4・社会・内容	自然災害から人々を守る活動	地域の災害対応
6	小5・社会・内容	我が国の国土と自然環境と国民生活	国や都道府県の公助
7	小5・社会・内容	我が国の国土と自然環境と国民生活	日本の自然災害と防災対策
8	小6・社会・内容	我が国の政治の動き	復旧・復興
9	小5・理科・内容	流れる水の働きと土地の変化	気象災害（現象）
10	小5・理科・内容	天気の変化	天気の変化
11	小6・理科・内容	土地とつくりの変化	地震・火災災害（現象）
12	小学・特活（学活）	心身ともに健康で安全な生活の態度の育成	身を守る行動（災害理解）
13	小学・特活（行事）	健康安全・体育的行事	身を守る行動（避難訓練）

学習指導要領における防災教育として扱う項目

	学年・教科・種別	学習指導要領の見出し	学習内容
1	中学・総則	教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成	-
2	中学・社会（地理）・内容	地域調査の手法	地理（地図）
3	中学・社会（地理）・内容	日本の地域的特色と地域区分	地理（地誌）
4	中学・社会（公民）・内容	私たちが生きる現代社会と文化の特色	公民（災害情報）
5	中学・理科（第2）・内容	自然の恵みと火山災害・地震災害	地震・火山災害（メカニズム）
6	中学・理科（第2）・内容	自然の恵みと気象災害	気象災害（メカニズム）
7	中学・理科（第2）・内容	地域の自然災害	地域の災害特性・災害史
8	中学・理科（第2）・内容	自然と人間	自然環境保全と科学技術利用
9	中学・保体（保健）・内容	傷害の防止	人的被害の要因理解
10	中学・保体（保健）・内容	傷害の防止	人的被害の事前事後対策
11	中学・技家（家庭）・内容	衣食住の生活	住空間の災害対策
12	中学・特活（学活）	心身ともに健康で安全な生活の態度の育成	身を守る行動（災害理解）
13	中学・特活（行事）	健康安全・体育的行事	身を守る行動（避難訓練）

文部科学省： 実践的な防災教育の手引き（小学校編）より

防災教育の実践例（小学校）



4年生社会科（危機管理防災課）



4年生社会科（危機管理防災課）



3年生社会科（消防署見学）

防災教育の実践例（小学校）



保護者への説明（PBL）



非常食の試食（PBL）



他校との情報交換（PBL）



カリキュラムマネジメント
社会×国語（PBL）



地震で倒れないタワーづくり
（PBL）

防災教育の実践例（小学校）



防災野外炊事（林間学校）



防災体験学習そなエリア東京
（校外学習）



6年理科
（火山活動や地震による土地の変化）



防災についてAIと対話

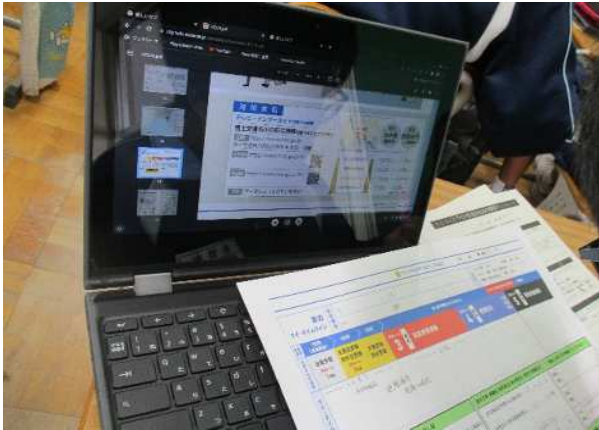


5年理科（天気と情報・台風と防災）



5年理科（天気と情報・台風と防災）

防災教育の実践例（中学校）



マイ・タイムライン作成（PBL）



地域の方とのマイ・タイムライン作成（PBL）



中学生とのマイ・タイムライン作成（PBL）



避難所設営作業（PBL）



発電機作動作業（PBL）



防災ゲームの発案（PBL）

今後に向けて

現在、地震災害だけでなく、ゲリラ豪雨や台風など様々な災害が起こり、人的・物的災害が発生している。

「いつ」「どこで」災害が発生しても自分自身の力で自分の命を守り抜く「**自助**」だけでなく、自らが進んで安全・安心な社会づくりに参加し、貢献できる「**共助・公助**」も求められる。

防災教育は**学校だけで完結せず、家庭や地域社会との連携**が不可欠である。

各校の安全マニュアルの見直しを行うとともに、各校のホームページやHome & Schoolを活用するなどしながら**家庭や地域と防災教育について共通認識**できるような取組を進めていきたい。

報告事項

令和 6 年第 9 回教育委員会(定例会)

令和 6 年 9 月 1 9 日 (木)

戸田市役所 3 階 教育委員会室

1 報告事項

ページ

令和6年9月戸田市議会定例会 教育関連一般質問について……………	1
(教育総務課)	
戸田南小学校教室棟(含給食調理場)増築等工事について……………	3
(教育総務課)	
美笹中学校建替基本計画の進捗について……………	4
(教育総務課)	
戸田市教職員専門研修実施報告について……………	6
(教育政策室)	
令和6年度全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果概要について…	15
(教育政策室)	
戸田市未来の学び応援プロジェクト (ふるさと納税を活用したクラウドファンディング)について……………	17
(教育政策室)	
市内中学校で発生した事案について【秘密会】……………	【当日資料】
(教育政策室)	
市民大学講座「家庭教育講演会」の実施について……………	22
(生涯学習課)	
郷土博物館開館40周年記念 第31回企画展の開催について……………	24
(生涯学習課)	
その他	

令和6年9月戸田市議会定例会について(自2024.8.27 至2024.9.25)

補正予算

歳入

《教育政策室》

- ・学校安全総合支援事業 872千円
【理由】国及び県の学校安全総合支援事業受託のための教育費県補助金(10/10)の増額

歳出

《教育総務課》

- ・戸田第一小学校改築等工事請負費 18,491千円
【理由】賃金水準又は物価水準の変動による工事請負代金額変更(インフレスライド)の請求、グラウンド工事における発生処分土の削り取り処分費、校舎敷地境界との調整のため工事請負費の増額

《教育政策室》

- ・教職員研修費 872千円
【理由】国及び県の学校安全総合支援事業に採択されたことによる備品購入費等の増額

【債務負担行為補正】

《教育政策室》

- ・ALT派遣業務(A地区・B地区) 令和6年度～令和9年度 計164,340千円

令和6年第9回教育委員会資料

一般質問(再質問除く)

質問者:むとう 葉子 議員

件名:学校給食について

質問要旨:

コロナ対策と同時期に物価高騰が始まり、その後も物価は高騰し続けている。子育て世帯や子供たちを取り巻く環境は厳しく、朝御飯を食べていない子供もいる。成長期に欠かせない栄養素を提供する学校給食は、健康な身体と心を育む「子供の権利」と考える。

(1) 物価高騰が続く中、献立の内容や食材の質は低下していないか。

(2) 第三子に対する全額無償化について。

周知と申請方法は、

事務の流れは、

(3) 学校給食費を無償にする考えは、

答弁者:教育部長

(1) 学校給食の献立は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスを十分考慮している。このため、物価が高騰している現在はもとより、日頃から創意工夫を凝らした献立作りに心掛けている。また、食材についても、従来どおり質を低下させることなく献立に沿った最適なものを選定している。

(2) 本制度の周知については、例年、小学校のすべての新入生に10月実施の就学時健診の時に、また、小中学校の在校生は11月に全児童生徒に周知している。その際、減免申請書とともにお知らせ文書を配布している。そのほかにも、市広報紙やホームページにも掲載している。申請方法については、書面とオンラインの2通りを準備し、各ご家庭で選択できるようにしている。なお、申請期間については、12月1日から翌年2月末日としている。なお、年度途中の転入者については、転入時の手続きの際に、各学校から当該申請書及びお知らせ文書を配布し、本制度の周知を図っている。

事務の流れについて。提出された申請書については、減免対象要件を満たしているかの確認作業を行い、3月から4月を目途に減免決定通知書を各ご家庭に送付する流れになる。なお、期限後や年度途中の転入者については、随時対応している。

(3) 学校給食費を無償にする考えについては、全児童生徒を対象に年間を通じて学校給食費を無償とした場合、約6億7千万円の財政負担が生じると見込まれる。学校給食費の無償化については、居住地による地域間格差を生じさせないためにも、国全体で対応を検討すべき課題と考えている。

質問者:本田 哲 議員

件名:市民生活における負担軽減・生活支援の予算編成

質問要旨:

奨学金制度について

(1) 過去5年間の奨学金の給付状況は、

(2) 現在の全額返済から、半額返済に戻し、家計負担を軽減すべきではないか。

答弁者:教育部長

(1) 過去5年間の貸付状況は、新規と継続を合わせ、1年度あたりの平均が60件で金額は1,600万円程度となっており、直近5年間は、減少傾向で推移している。

(2) 奨学金の半額返済免除については、平成19年度まで実施していたが、他自治体の状況も踏まえ平成20年度から全額返済型に見直した経緯がある。返済に当たっては、卒業後6ヶ月間据え置きの後、最長10年間、無利子での返済となり、ゆるやかな返済方法となっている。

また、近年、国や県の支援金や補助金による高等学校の授業料無償化や、日本学生支援機構の奨学金制度では、返還不要の奨学金における対象者の枠が増えたことや支給額の増額、授業料と入学金の減免規定も創設され、奨学金の内容が充実してきている。

このことから、引き続き、他の奨学金制度や今後の社会情勢を注視しつつ、現行制度にて支援をしていく。



再質問等、一般質問の答弁の詳細については「戸田市議会本会議録画配信」をご覧ください。

美笹中学校建替基本計画の進捗について

美笹中学校の建替え概要

美笹中学校の既存校舎は老朽化が進行しているため、校舎の建替えを予定しています。今年度は、庁内、学校関係者、市民等で構成する「戸田市立美笹中学校建替基本計画検討委員会」を設置し、新校舎のコンセプトや整備方針を定める建替基本計画の策定を進めます。

なお、令和7年度から令和8年度にかけて設計業務を実施し、令和9年度から工事に着手する予定です。



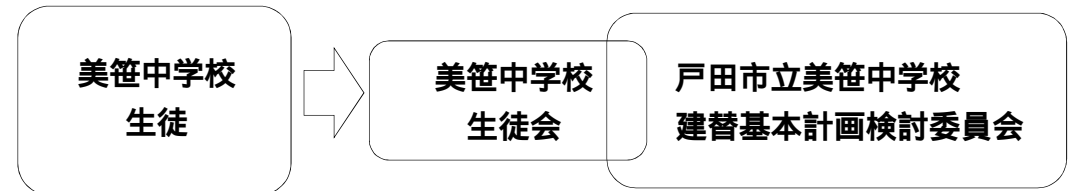
委員構成

検討委員会委員については、学校運営協議会委員（CS）等（10名）、美笹中学校長・教頭（3名）、笹目小学校長、**美笹中学校生徒会（生徒委員）3名**、市職員（6名）の計23名で構成しています。

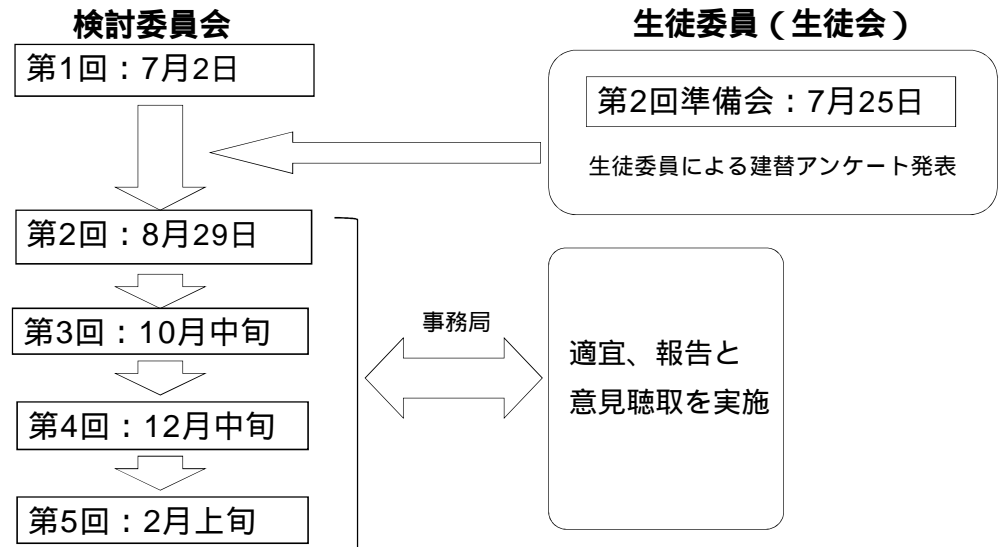
生徒委員との関わりについて

生徒委員（生徒会）は、開催時間の都合から委員会の出席が困難であるため、通常の検討委員会とは別に時間を設け、基本計画に関わります。

取組みの一つとして、生徒委員では基本計画に生徒の声を反映させるため、生徒委員から全校生徒に向けて校舎建替えに関するアンケート調査を行い、結果のとりまとめを行いました。



検討委員会のスケジュール



建替検討委員会の進捗

基本計画では建替えコンセプト、整備方針、校舎の配置ゾーニング、必要となる諸室、建替えの手順、工事期間中の学校への負担軽減などについて定める予定であり、検討委員において意見をいただきながら策定を進めます。

第1回検討委員会 7/2

美笹中学校を取り巻く環境などを中心に情報共有を行い、各委員との意見交換を行いました。

主な意見

生徒の意見が重要

時代(学び)の変化に対応したゆとりある学習空間(教室等)

防犯対策の強化

防災対策の充実

脱炭素の取り組み

第2回検討委員会準備会 7/25

生徒委員が主体となり実施した校舎建替えアンケートについて発表が行われ、意見交換を行いました。

建替えアンケート概要

実施時期：令和6年6月25日～7月10日

回答生徒：227名

内容：現在の校舎の印象、新校舎の理想イメージ

主な生徒の意見(発表内容)

○現在校舎の良い点

雰囲気明るい

緑豊かで広い

○新しい校舎の理想のイメージ

きれいで清潔、安全、緑が豊か、明るい雰囲気、おしゃれ

○現在校舎の悪い点

壁や廊下が古い

廊下などの雰囲気が暗い

第2回検討委員会 8/29

第1回検討委員会における委員からの意見や生徒委員からのアンケート結果などを踏まえ、建替基本計画における整備方針、建替えコンセプトについて検討しました。



生徒委員のアンケート結果発表の様子

令和6年度 夏の専門研修 アンケート項目のまとめ

	研修名	Google Workspace 研修会	中学校英語担当 教員指導法研修 会	PBL研修会 (初級)	PBL研修会 (中級)	考え、議論する 道徳指導法研修 会	特別支援教育 コーディネーター 研修会	幼保小連携 特別支援教育 UD研修会	ペアトレ 指導者養成研修	AL指導用 ループブック研修	グッドプラクティス から見る 指導改善研修	学級経営リフレク ションシート活用 研修	全研修会 平均値	R05 平均値 参加者 411名※1	R04 平均値 参加者 122名※2
	参加者数(名)	18	17	23	20	37	25	26	7	21	19	25		3.67	3.55
アンケート項目 (4段階の参加者平均値)	研修の満足度	3.53	3.73	3.67	3.69	3.69	3.62	3.72	3.86	3.59	3.67	3.59	3.67	3.55	4.58
	学校での実践意欲	3.53	3.73	3.52	3.81	3.72	3.58	3.78	3.57	3.32	3.52	3.48	3.60	3.47	4.78
	総合評価	3.53	3.73	3.60	3.75	3.71	3.60	3.75	3.72	3.46	3.60	3.54	3.63	3.51	4.68

※アンケートは、4件法で実施。(上記結果では、最大値を4、最小値を1として参加者回答の平均値を記載)

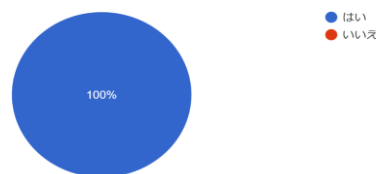
※1 教科等指導法研修参加者を含む。

※2 R4は5件法で実施

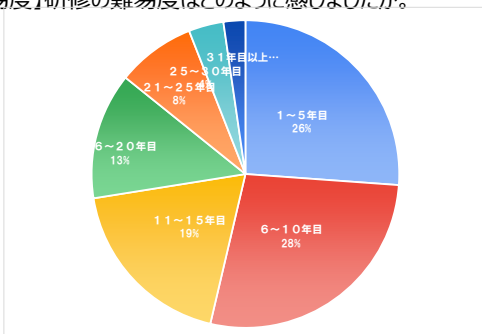
参加者合計 238名

【研修への意欲】

【Q2】研修に意欲的に課題をもって取り組みましたか。
212件の回答



【年次】教員としての勤務経験年数は「通算何年目」ですか。
【難易度】研修の難易度はどのように感じましたか。



○

	難しい	少し難しい	ちょうどよい	少し簡単	簡単
1～5年目	10%	40%	45%	2%	2%
6～10年目	2%	25%	65%	8%	0%
11～15年目	2%	29%	66%	2%	0%
16～20年目	7%	17%	72%	3%	0%
21～25年目	0%	22%	72%	6%	0%
26～30年目	0%	25%	75%	0%	0%
31年目～	0%	20%	80%	0%	0%
総計	5%	28%	62%	4%	0%

【全体考察①～研修全体を通して】

○授業の根幹研修も含めた、**満足度の平均**は3.63と昨年度よりも高い結果となっている。研修に意欲をもって取り組んだ教員も100%となっており、先生方がそれぞれの課題意識に基づいて研修を受講することができたことがうかがえる。

○**難易度の感じ方**では、概ねどの年代においても「ちょうどよい」と回答している割合が最も高く、1～5年目の教員は「少し難しい」「難しい」と回答する割合が高い。「PBLについておぼろげに理解していた部分があり、今回の研修を通してPBLについてより具体的に理解することができました。」(PBL研修(初級)1～5年目)との感想にも見られるように、今後もキャリア段階または難易度に応じたレベル設定や校種別の実施など、より参加者のニーズに合わせた研修会を設定していく必要がある。

○「今回ロールプレイを行ったことで懇談会でどのように保護者の話をきき、ファシリすればよいかイメージがつかめました。」(ペアトレ指導者養成研修)、「補助発問を繰り返すことで、考えが深まっていくということを実践を通して学ぶことができました。今後の授業づくりに生かしていきたいと思います。」(考え、議論する道徳指導法研修会)のような感想にも見られるように、満足度の高い研修では、**実践的にかつ体験的に学ぶ**ことができる研修が多い。今後も、先生方が理論とともに実践的に学ぶ研修を設定していく必要がある。

【全体考察②～授業の根幹研修について～】

○「授業の根幹は不易の部分であることを再確認できた。」「戸田市の指導の重点・主な施策を読み、教員が理解する時間をつくりたいと感じた。」との感想に見られるように、**授業の根幹**である「指導の重点・主な施策」の内容について内容を理解・習得し、自校の実情や取組を客観的に振り返り、捉えることにつながったことがうかがえる。

○本研修では、研修の最後に学校ごとに受講者がそれぞれの**研修の学びを共有**し、自校でどのように**伝達**していくか考える時間を設定した。「前半の各担当の研修で学んだことを持ち寄って、同じ学校の先生と自校の課題や現状を捉えた上で、どのように研修の機会を設け、周りの先生に広めていけるかを考えることができた点が非常に良かったです。」「後半の、学校ごとの話し合いでは、3つの研修内容について共有でき、そこから、本校で取り組んでいく方向性が見えてきました。」等の感想に見られるようにアウトプットの機会を設け、自校における研修の在り方について考える機会を設定したことは先生方の満足度を高める上でも効果的だった。今後も研修した内容をどのように校内に還元していくか先生方が考える機会を設定していく研修方法を検討していくとよい。

令和6年度 夏季休業中の戸田市教職員専門研修一覧

番号	研修会名等	対象者	日時・会場
1	Google Workspace 研修会	各校1名 (2名以上は要相談)	7月25日(木) 9:30~12:30 会場: Google社オフィス ※事前課題なし ○Google LLCとの連携による研修会
2	外国語科指導法研修会	英語担当教員 各校2名以上 ※希望があれば、 小学校教員も可	8月2日(金) 13:30~16:30 会場: 戸田市立教育センター
3	PBL研修会(初級)	各校1名 (2名以上は要相談)	8月6日(火) 13:30~16:30 会場: 戸田市立教育センター
4	PBL研修会(中級)	各校1名以上 (PBLの推進者)	7月26日(金) 13:30~16:30 会場: 戸田市立教育センター ○ダイワボウ情報システムとの連携による研修会
5	考え、議論する道徳指導法研修会	各校2名	7月29日(月) 9:00~12:00 会場: 戸田市立教育センター
6	特別支援教育コーディネーター研修会	各校特別支援教育 コーディネーター	8月2日(金) 13:30~16:30 会場: 戸田市立教育センター ○戸田市発達支援巡回相談員との連携による研修会
7	幼保小連携 特別支援教育・UD研修会	幼稚園・保育園 小・中学校 各校1名以上	7月31日(水) 9:00~12:00 会場: Zoomによるオンライン開催 ○LITALICO(リタリコ)との連携による研修会
8	ペアレントトレーニング指導者養成研修	本研修未受講者 (希望制)	8月5日(月) 9:00~16:30 会場: 戸田市立教育センター ○LITALICO(リタリコ)との連携による研修会
9	AL指導用ルーブリック研修	各校1名以上 ※学力向上を推進している教師	①7月26日(金) 9:00~12:00 ②7月31日(水) 13:30~16:30 ※①・②は同一の内容
10	グッドプラクティスから見る 授業改善研修	各校1名以上 ※研修主任や研修担当者	①7月26日(金) 9:00~12:00 ②7月31日(水) 13:30~16:30 ※①・②は同一の内容
11	学級経営リフレクションシート 活用研修	各校1名以上 ※学年主任・学級担任	①7月26日(金) 9:00~12:00 ②7月31日(水) 13:30~16:30 ※①・②は同一の内容

※9~11については、研修の最後に学校ごとに受講者がそれぞれの研修の学びを共有し、自校の実態に合わせどのように伝達していくのかを考える時間を設定する。そのため、可能な限り①か②のどちらかの日程を選択し、9~11の研修については同一日での参加となることが望ましい。

受講者	満足度	実践化
18人	3.5	3.5

1 Google Workspace for Education研修会



戸田市で1人1台端末としてクラウド利用を前提とするChromebookで利用しているGoogle Workspace for EducationをGoogle社のオフィスにおいて研修を行った。各アプリの効果的な活用方法について、様々な実践例を体験的に学ぶことができた。

「相互評価の場面」「学習の振り返りをする場面」「自分のペースで学習を進める場面」など、具体的な場面を想定し、どのアプリケーションを用いて授業を設計するかといった課題に対して、これまでの経験を基に考えを深めることができた。

<受講者の感想>

- Google Workspaceのアプリを用いて、それぞれの強みを生かしていく活動を取り入れていきたいと考えた。フォームやスプレッドシートを用いての各単元の振り返り活動や、今の生徒の実態についてのアンケートを授業に取り入れるなどの活用方法が考えられる。クラスルームを用いた配信や、スクリーンキャストについても取り入れていきたいと考えた。
- Classroomを中心として、Googleの各種アプリの実践状況を共有できた。これまでの実践を継続するとともに、「デジタルの良さ」と対面でのコミュニケーションをバランスよく取り入れていきたいと感じた。
- Google Workspace 活用力向上研修会では、様々なことを学ぶことができました。Googleアプリを活用した実践交流では、他校の実践を聞いたり、新しい取組について考えたりすることができ、大変ためになりました。

受講者	満足度	実践化
17人	3.7	3.7

2 中学校英語担当教員指導法研修会



文部科学省初等中等教育局教育課程課外国語教育推進室教科調査官である入之内昌徳様を指導者としてお迎えした。「生徒の英語力を高める言語活動の充実～言語活動を通して指導～」と題して、前半は、学習指導要領の目指す方向性から始まり、全国各地の好事例をもとに、具体的な指導方法について御指導いただいた。後半は、小中の先生方が協働で演習を行い、小中連携した学びの在り方について学びを深めることができた。

英語によるコミュニケーションの見方・考え方を働かせ、言語活動を通してコミュニケーションの資質・能力を育成するための授業づくりについて学ぶことができた。

<受講者の感想>

- これからの英語教育に求められることとして、改めて生徒自身が主体的に「自己選択」「自己決定」できる場面設定等が必要だと実感しました。言語活動の場面では、やり取りをして終わりではなく、今後もやり取りのフィードバックややり取りから考えを深めていくことを意識して授業を行っていきたいです。生徒の言語エラーの指導についても、単に正解を教えるのではなく、生徒自身に気づかせる発話を大切にして指導していきたいと思いました。改めて自分自身の授業について見直す大変良い機会でした。
- これまでの経験に基づく自分の授業を変えることはなかなか勇気のいることだと感じていました。本研修は、少しずつでも良い方向へ変えていこうという良い動機付けになりました。具体的な演習や講演がとても参考になりました。
- 目標の具体性が大切だと感じました。授業を作る時の生徒のゴールの姿の設定が今までは足りな過ぎました。学校紹介など社会とのつながりを設定するなどできることはたくさんあると感じました。

受講者	満足度	実践化
23人	3.7	3.5

3 PBL研修会（初級）



本研修では、そもそも PBL とは何か、戸田型 PBL とは何か、どのように単元を構成していけばよいのかについて理解を深めてもらうことを目的に研修を行った。

はじめに埼玉県教育委員会の中村主査から講義をいただき、PBL について理解を深めた。その後は生活科・総合的な学習の時間に分かれ、実際にどのように単元を構成していけばよいのか、その際留意することは何かについて実践的に学ぶことができた。

なお、本年度も PBL の基礎・基本を学ぶ研修として、PBL 初心者を対象に研修を構成した。

<受講者の感想>

- ・ これまでは一緒に学年を組んでいるより PBL に詳しい先生方に大まかな型を作ってもらって、細かいところと一緒に考えていくような感じで総合をやっていました。今回この研修を受けて、どのような流れで単元を組んだらよいのか、また子供たちにどのようなイメージをもって進めていったらよいのかがとてもよくわかりました。
- ・ PBL の授業の進め方のポイントや児童へのファシリテートの仕方など見えているようで見えていなかったことを改めて考え気付くことができてよかった。また、授業構成案を検討する中で他校の先生方と情報共有したり講師の方からアドバイスしていただいたりしながら考えることができずぐにでも使える授業案や考え方ができた。
- ・ 生活科の教材研究をする際に、学習指導要領の内容と、実際に児童がどんな反応をしどんなことに興味をもちそうかをつなげることを意識し、それをもとに授業を考えようと思います。

4 PBL研修会（中級）

受講者	満足度	実践化
20人	3.7	3.8



ダイワボウ情報システム（株）竹元賢治様を指導者に迎え、戸田型 PBL への理解を深め、自校の PBL リーダーとして教育目標の実現に向けたカリキュラム、授業デザインの企画・実践・推進を行うことを目的に研修を行った。竹元様から子供たちの資質・能力について講義をいただき、その後はグループに分かれ自校の教育目標、目指す児童生徒像を実現するために必要な資質・能力は何か検討し、過去のプレゼン大会の事例を基に育む資質能力について検討を行った。研修の最後には防災をテーマにグループごとに単元構成を企画し、自校の実態に合わせた単元計画の作成について実践的に学ぶことができた。

<受講者の感想>

- ・ 課題解決学習が、子供が身に付けるべき社会に求められる資質・能力を総合的に育成するために効果的であるということを再認識しました。教科の学習がベースとなり、ICT を使いこなし発信する能力や、課題を発見し、設定し、調査分析し、解決していく能力など、さまざまな能力が複合的にからみあいながら長期的に育成されていくべきものであることがわかりました。年度内で終わらせることなく、次の学年にもバトンを渡していくためには、学校全体でプログラムを考えていく必要があると強く思いました。
- ・ 戸東小のランドセルプレゼンについて改めて考えることができ、単元構成や教科の学びの活用、資質・能力の育成、ICT や情報活用など様々なよさを見つけることができました。研修を通して、育てたい力は何なのか？をよく考えて授業構想をしていきたいと思いました。また、小学校での学びやこれまでの学びを教師が把握してデザインすることを覚えておきたいと思いました。

5 考え、議論する道徳指導法研修会

受講者	満足度	実践化
37人	3.7	3.7



講師に開智国際大学土井雅弘教授を迎え、「考え、議論する道徳指導法研修会」を開催した。

講義では、特別の教科道徳と他教科との違いや、授業づくりのポイント、どのような道徳の授業を目指すべきか等について御講義いただいた。

また、小・中学校の教材を用いて、取り上げる場面や発問等について考える、授業づくりに活かせる演習に取り組んだ。

小・中学校の教員が混ざり合ってグループとなり、協議を行うことをとおして、発達の段階や9年間を見通した道徳の授業の在り方を意識しながら教材研究に取り組んだ。

<受講者の感想>

- ・昨年度から、土井先生による研修を受けていますが、毎度自分ができていな新たな課題点に気が付かされています。児童同士の対話も大切ですが、ただ話し合っただけで終わるのでなく、理由を聞いていく中で、教師から道徳的価値にせまる問いを切り込んでいくことが改めて大切だと分かりました。道徳の授業は本当に難しいですが、二分法を1年生でも挑戦していきたいと思います。
- ・道徳の授業では子供が今もっている道徳的価値観を引き出すことや引き出した道徳的価値観を一步でも高めることが重要であるということを知ることができました。行為や言葉、表情といった見える部分のみで判断し、考えるのではなく、生徒自身の価値観といった見えない部分に目を向ける必要があることが理解できました。
- ・研修に参加をして、やってみたいと思う事が多くありました。実践の時に、どこが主発問で、どのように道徳の授業を行うかどうかを協議する時間がとても勉強になりました。

6 特別支援教育コーディネーター研修会

受講者	満足度	実践化
25人	3.6	3.6



市内各小・中学校の特別支援教育コーディネーターの研修会を教育センターで開催した。

本市の発達支援巡回相談員の小川洗菜先生を講師としてお招きし、特に児童生徒の「観察ポイント」について、御講義をいただいた。

協議では、事例検討を行い、「特別支援教育コーディネーター」としての担う役割を重視し、児童生徒の日常生活や学習活動の困難さとその背景・要因を探った。そして、情報収集を通して見立てを行い、児童生徒に寄り添った具体的な支援策を実行していくことが重要であることを共有した。

<受講者の感想>

- ・研修を通して、特別支援コーディネーターが学校でどのような役割を担うべきなのかを学ぶことができました。私自身、特別支援コーディネーターに今年度初めてなり、何をすればいいかわからなかったので、2学期以降につながるとても有意義な時間となりました。
- ・アセスメントをとるために行動を見る視点を学ばせていただきました。単なるエピソード集めにならないよう効率的な校内委員会（教育相談部会）の運営を考えていきたいです。書籍の紹介もありがたかったです。
- ・課題のある児童・生徒への理解につながる基礎知識をととてもわかりやすく講師の先生のお話から学ぶことができました。
- ・特別支援コーディネーターとして見るべき視点や知識、時期ごとの役割を知ることができてとても勉強になりました。今後も学級の児童への手立てやケース会議の進行に生かしていきたいです。

7 幼保小連携 特別支援教育・UD研修会

受講者	満足度	実践化
26人	3.7	3.8



ほめるだけじゃない 信頼関係を強める関わり方
不安強い、感情のコントロールできない、自信がない、反抗的な人へ

- 【逆模倣】 子どもの行動を真似する
→大人に興味を持ち、子どもも大人の真似がしたくなる
- 【オウム返し】 子どもの言ったことを真似する
→大人が自分の言ったことを全部、聞いてくれて理解してくれたと思う
- 【行動の実況】 子どもの行動を言葉にする
→子どもから活動の主導権を奪わず、見守っていることが伝わる
- 【パラレルトーク】 子どもの感情を代弁する
→感情にラベルをつくことで、どんな状態でも自分の感情の学習ができる
- 【セルフトーク】 自分の気持ちを言葉にする
→感情にラベルをつくことで、どんな状態でも相手の感情の学習ができる

本研修では、株式会社 LITALICO から永塚健様をお迎えし、「多様なニーズのある子どもたちへの集団における支援と個別的な支援」について学んだ。

小・中学校教員だけではなく、幼稚園教諭や保育士も参加した。Zoom を使用してのオンライン研修であったが、チャット機能を活用し、受講者参加型の研修であった。学校の教員だけでなく園からも活発に質問があり、支援について共通認識を持つことができる良い機会となった。

<受講者の感想>

- ・子どもたちの良いところを伸ばす、褒める、問題行動を読み取ることで良い部分も考えるなどポジティブな関わりの重要性を学びました。自らの環境を整え、子どものところを守り、成長に携わっていきたい。
- ・個だけではなく、環境に目を向けることの大切さ、また共感の仕方や声かけの仕方など学ぶべきことが多く、とても有意義な時間を過ごすことができました。
- ・改めて、心身の健康が大切であると感じました。自分がパニックゾーンに陥らないためにも今後より意識していきたいです。さらに生徒に対して自分の当たり前を押し付けるのではなく、子供の家庭環境や実態がどうなっているかを知ることにより良い支援につながるかと学びました。
- ・子どもたちの心を大事にして日々向き合っていきたいと思いました。よい面を見つけること、それを相手に伝えることを意識していきたいです。

8 ペアレントトレーニング指導者養成研修会

受講者	満足度	実践化
7人	3.9	3.6



本研修では、(株) LITALICO 教育ソフトパートナー講師 熊谷彩様 を指導者にむかえ、保護者向けプログラムであるペアレントトレーニングを実施するための基本的な理論を学んだ。

講義ではペアレントトレーニングの土台となるポジティブな行動支援について御指導いただいた後、ロールプレイによる演習を行い、実際にペアレントトレーニングを行う際の保護者への具体的な声かけの仕方を学んだ。

<受講者の感想>

- ・ポジティブな声掛け、ファシリテーターとしての役割を学びました。また今回の研修ではインプットした知識をワークでアウトプットするような研修の方法だったのでとても多くのことを理解することができました。
- ・今一度、しっかりと基礎を学びたいと思い参加させていただきました。丁寧に PBS のことを学びなおし、今までの校内研修の資料なども見返してみると、モヤモヤしていた部分も理解することができました。
- ・児童にも保護者にも、PBS を用いて支援ができそうだなと感じました。また、今回ロールプレイを行ったことで、懇談会でどのように保護者の話をきき、ファシリテートすればよいかイメージがつかめました。
- ・PBS の行動支援がとてもよくわかりました。困った行動の意味を考えることの重要性を学びました。

AL指導用ルーブリック研修

参加者数

21人

アンケート結果

満足度

3.6

実践化

3.3

【研修の概要】



学校訪問等で授業の振り返りとして活用しているアクティブ・ラーニング指導用ルーブリック。最初に、参加者が持参した指導案をルーブリックと照らし合わせてチェックした。担当者からは、このルーブリックに段階が設定されていることや5つの視点についての詳細を説明し、ルーブリックを活用した授業改善についての共通理解を図った。

その後、実際に市内の教員が作成した指導案を基に「どのような指導案にしていけばよい授業になるのか」をルーブリックを活用して考えた。

研修の後半では、今回の研修の学びを基に、参加者が持参した指導案を再度チェックするとともに見直すことで、自分の授業をアップデートした。

ルーブリックを活用し、それぞれの項目で実際の授業を振り返り、改めて授業改善の重要性を確認できる学び多き研修となった。

受講者の感想

・自分の日々の授業をALの視点からふりかえることができました。ふりかえると大分独りよがりな授業をしてしまっていたことが分かりました。教科書や指導書に頼って課題設定や活動を決めていた部分があるので、夏休み明けからは目標から逆算し、目の前の児童にあった課題と活動を考えていきます。そのためにも、日々の学級経営が大切ということも分かりました。

・ALにしても、リフレクションにしても、すべては「生徒たちの可能性を広げるため」ということを改めて感じた。「～をなさい」、「～ということ覚えなさい」ではなく、「自分はこの集団でどういう立場を築いたら良いのか?」、「私たちはどのように自分の力を成長させれば良いのか?」など、一方的なものではなく教師・生徒双方向からより良い環境を作るための空間づくりをしていくことが大切であると感じた。そして、そういう考え方のできる子ども達を育てていきたい。

グッドプラクティスから見る指導改善研修

参加者数

19人

アンケート結果

満足度

3.7

実践化

3.5

【研修の概要】



戸田市の指導の重点にあげている「グッドプラクティスから見る授業改善」について、授業の中での指導のポイントや支援の工夫など、具体例を挙げながら講義を行った。

研修の後半には、小・中学校合同で小グループの協議を行い、各校の指導の実態と課題点の洗い出し、授業改善のための具体的な手立て等について話し合った。

全体を通して協議の時間を十分に確保したことで、自校の研修の進め方について見直すとともに、学びの主語を子供たちにする授業のあり方や、教材の見方・考え方の大切さ、ICTの効果的な活用、PBSの視点での支援の充実等、授業の本質を再認識することができた。

受講者の感想

- ・学びの主語を子供たちにする授業改善が大切であると再認識することができました。子供たちが見方・考え方を働かせるような授業の視点として、学習形態の工夫やICTの活用とあったが、学習形態もICTを活用するにも、しっかりとした意図や方法を明確にもっておくことが大切だと分かりました。
- ・グッドプラクティスで挙げられていることの多くは、すべての教員ができていべきことなので、校内研修等で活用していきたいです。
- ・今日協議をしてみて、ICTを活用した授業になって、教材研究は熱心にやるようになった反面、目の前の児童の学習状況の把握やそこへの声掛けが少なくなっていることに気づきました。教材の工夫や授業計画ももちろん大切ですが、毎時間、目の前の子供たちがどんなことに困っているか、どんな成長をしているか見届けることこそが教師の仕事だと改めて感じました。

参加者数

25人

アンケート結果

満足度

3.6

実践化

3.5

【研修の概要】



はじめに、現在の教育をめぐる状況と学級経営リフレクションシートについて、講義を行った。

県の学力・学習状況調査等においても、学級経営と学力が正の関係にあることが分かっており、学力や学習方略が伸びた子供は、教員との関係性が良い傾向があることも分かってきている。そのことを、踏まえ、学級経営の充実をどう行っていくか、学級経営リフレクションシートを基に、参加した先生の自分自身の内省と、若手の人材育成の視点からの活用について協議を行った。

学級経営リフレクションシートを学年会で活用するという意見や、話題づくりの視点でシートを活用したい等、自身の内省だけではなく、今後の活用についても意見が交わされた。



受講者の感想

- ・ルーブリックやリフレクションシートを活用して自己の指導について振り返り、見直していくことが大切だと学びました。学級や学校の児童の力を向上させるため、今日学んだ学級経営や他校の実践を参考にしながら今後の指導を改善していきたいです。
- ・先生方とのグループワークを通して、自校の課題整理をすることができました。研修で考えた内容を実践し、今回の研修内容を校内でも生かせたらと思います。
- ・学級経営の向上について、「若手の人材育成」などと焦点化して教員同士協力して行っていくことが大切であることを確認しました。本校の実態を踏まえ、全職員で児童を成長させる意識を高め、関係性をより広げ深めるようにしていくことが大事だと考えました。普段からオープンな学級経営を行っていくようにしていきたいです。

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果【戸田市】

戸田市教育委員会教育政策室

	小学校6年生			中学校3年生		
	戸田市	全国	埼玉県	戸田市	全国	埼玉県
国語	67	67.7	69	61	58.1	59
算数・数学	63	63.4	64	55	52.5	53

(平均正答率 単位 %)

<前回の結果との比較>

令和5年度 小学校6年生

	戸田市	全国	県	国との差
国	70	67.2	68	2.8
算	64	62.5	62	1.5

令和6年度 小学校6年生

	戸田市	全国	県	国との差
国	67	67.7	69	-0.7
算	63	63.4	64	-0.4

令和5年度 中学校3年生

	戸田市	全国	県	国との差
国	72	69.8	71	2.2
数	55	51.0	52	4.0

令和6年度 中学校3年生

	戸田市	全国	県	国との差
国	61	58.1	59	2.9
数	55	52.5	53	2.5

<同じ集団での比較>

令和3年度 小学校6年生

	戸田市	全国	県	国との差
国	66	64.7	65	1.3
算	71	70.2	69	0.8

令和6年度 中学校3年生

	戸田市	全国	県	国との差
国	61	58.1	59	2.9
数	55	52.5	53	2.5

同じ集団の3年後は…

とだっ子の学習状況について

本市では小学校は、国語、算数ともに国及び県の平均正答率を僅かに下回る結果でした。中学校は、国語、数学ともに国及び県の平均正答率を上回る結果でした。

同じ児童生徒集団で比較すると、令和3年度から令和6年度にかけて、国語の平均正答率が1.6ポイント向上しています。算数・数学においても、1.7ポイント向上しています。国語、算数・数学ともに、全国以上の伸びが見られます。

今後は、小学校年代での学習内容の定着を強化しながら、1人1台端末をマストアイテム化し、教科等横断的な学びや、ICTを効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現を目指し、主体的・対話的で深い学びの授業改善をさらに進めてまいります。

令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査結果【戸田市】

戸田市教育委員会教育政策室

埼玉県と戸田市の令和6年度平均正答率の比較

	小学校4年生			小学校5年生				小学校6年生				中学校1年生				中学校2年生				中学校3年生			
	埼玉県	戸田市	県比較	埼玉県	戸田市	県比較	R5 県比較	埼玉県	戸田市	県比較	R5 県比較	埼玉県	戸田市	県比較	R5 県比較	埼玉県	戸田市	県比較	R5 県比較	埼玉県	戸田市	県比較	R5 県比較
国語	51.9	54.3	2.5	56.9	58.1	1.2	1.5	56.7	57.1	0.4	-1.7	59.9	62.8	2.9	-0.2	60.3	61.4	1.1	0.5	66.4	69.9	3.5	0.3
算数・数学	62.6	63.3	0.8	53.4	53.3	-0.1	0.1	50.9	51.3	0.4	-2.0	53.5	54.6	1.1	1.1	48.8	51.7	2.9	-0.1	57.5	61.7	4.2	1.4
英語																61.9	65.4	3.5		54.6	61.4	6.8	4.8

(平均正答率 単位 %)

- 本年度は、小学校5年生算数以外の項目で県平均正答率を上回っている。
- 昨年度県平均を下回っていた項目については、今年度はすべて県平均を上回っている。
- 英語では、中学校第2, 3学年共に約3ポイント以上、県平均を上回っている。
- ※県比較については、小数第一位の値であるため必ずしも見た目上の差とは一致しない。

埼玉県と戸田市のR04～R06(過去3年間)の学力のレベルの伸びの比較

		小学校4年生			小学校5年生			小学校6年生				中学校1年生				中学校2年生				中学校3年生				
		R06	学力の伸び	R05	R06	学力の伸び	R04	R05	R06	学力の伸び	R04	R05	R06	学力の伸び	R04	R05	R06	学力の伸び	R04	R05	R06	学力の伸び		
国語	埼玉県	5-B		6-C	6-B	1	6-C	7-C	7-C	0	6-A	7-B	7-A	1	7-A	8-C	8-C	0	8-C	8-B	9-C	2		
	戸田市	5-A		6-C	6-A	2	6-C	6-A	7-C	1	7-C	7-A	7-A	0	7-A	8-C	8-C	0	8-C	8-B	9-B	3		
算数・数学	埼玉県	4-A		5-C	5-B	1	5-B	6-C	6-B	1	6-C	6-B	6-B	0	6-A	7-C	7-A	2	7-B	8-C	8-C	0		
	戸田市	4-A		5-C	5-B	1	5-A	6-C	6-B	1	6-B	6-A	6-A	0	7-C	7-C	8-C	3	7-A	8-C	8-B	1		
英語	埼玉県																		9-C			9-C	10-C	3
	戸田市																		9-B			9-A	10-B	2

(学力のレベルについては、次ページ参照)

- 昨年度と同様、埼玉県平均よりも、高い学力のレベルを維持しつつ、児童生徒の学力を概ね同程度伸ばすことができた。



戸田市未来の学び応援プロジェクト

(ふるさと納税を活用したクラウドファンディング)

学校発の提案を、**応援**しませんか？

未来の学びの実現に向けたクラウドファンディングについて

- 「戸田市から日本の教育を変える」をコンセプトに、これまでの教育・学校の「当たり前」を問い直す、学校主体の夢のある学校改革や教育委員会による産官学連携の下での教育改革を通じた未来の学びの実現に向け、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングを実施。
- 確保した資金は、一般の寄附金と併せて、戸田市未来の学び応援基金へ積立て。

実施期間

令和6年10月から令和7年3月まで（予定）

- ふるさとチョイスのGCFを利用
- 原則3か月のところ、目標未達の場合には更に3か月の延長を想定

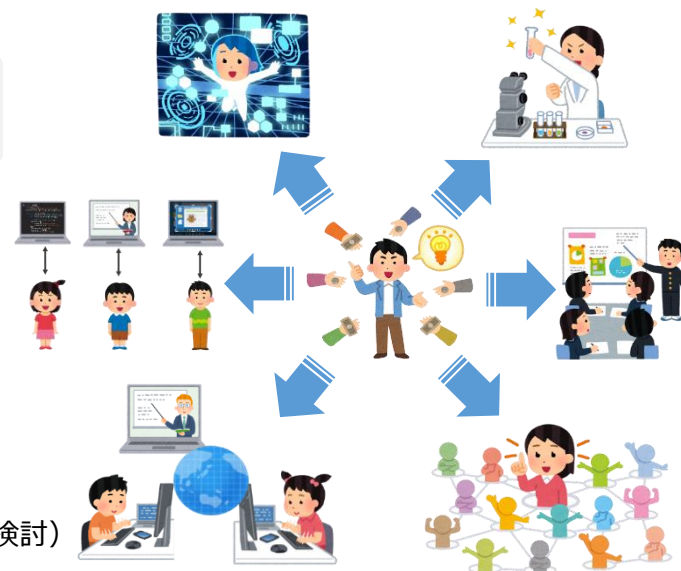
対象テーマ

PBL（課題解決型学習）、先端技術を活用した学び、インクルーシブ教育、レガシー創出、教師の資質向上、働き方改革 など

- プロジェクトは8月下旬までに応募（任意）
- 約5-6割の10校から「意向あり」の報告

寄附者への還元

ホームページ、SNS等を通じて事業成果報告（高額寄附者は別途検討）



戸田市未来の学び応援基金条例
第2条に掲げる基本理念

脱・正解主義

脱・自前主義

脱・予定調和

脱・教師主導

脱・3K
(経験と勘と気合い)

未来の学びの実現に向けた5つの要件

提案は、次の要件のうち、**全部又は一部**を満たし、これまでの教育・学校の「**当たり前**」を問い直す**全国的なモデル**となるもの（戸田市未来の学び応援基金条例第2条に規定）

脱・正解主義

正解を探し求める学習から、正解のない課題に取り組む学習や主体的に課題を設定する学習へ転換し、教科等横断的な学び等を実現すること

1

脱・自前主義

学校が全ての教育活動を行うのではなく、産官学や地域の資源を取り入れながら、社会に開かれた教育課程を真に実現する、持続可能な教育及び学校を目指すこと

2

脱・予定調和

教師により計画された学習に子ども達に取り組むのみならず、想定外の学びや挑戦による失敗を通じたワクワク感や深い学びを実現すること

3

脱・教師主導

教師が主導する授業や全ての子ども達が一斉に同じ内容を学ぶ授業から、子どもが主導する学びや個別最適な学びに転換するとともに、子ども同士の、又は子どもと教師の対話によるフィードバックを行うことを通じて、子どもも教師も協働して学び続ける学校を真に実現すること

4

脱・経験と勘と気合い

教師の経験、勘及び気合い（3K）のみによる指導から脱し、暗黙知の共有化及び形式知への転換並びに学習状況の可視化等を通じて、客観的な根拠を参照した政策及び実践を目指すこと

5

19

2

未来の学びの実現に向けた各学校等からの提案内容（令和6年度分）

学校主体の夢のある学校改革

- ・専門家活用等による**PBL**（課題解決型学習）の推進
- ・子供たちの学びと実社会をつなぐ**PBLプラットフォーム**開発
- ・子供達、地域の思いを形にした**夢のある施設**等への再生
- ・倒木したシンボルツリーの有効活用による**レガシー**の創出
- ・学校全体での**インクルーシブ**教育の推進
- ・**インクルーシブ**教育の推進による学びと支援の充実
- ・多様な**Well-being**を実現する学校づくり
- ・**VR**を活用した未来を感じられる授業展開と学びの充実
- ・教師の研修観アップデートにより**脱・正解主義の授業**を創造
- ・ボトムアップでの職場環境の改善による**働きがい**を改革



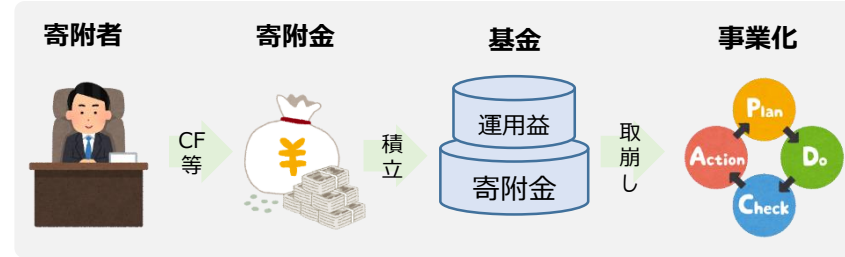
※ 仮に各提案に必要な経費が全て確保できなかった場合でも、各プロジェクトは優先順位を定めるなどした上で、実施する。

※ 仮に全ての提案の実施に必要な経費以上の資金が確保できた場合には、ある学校の提案内容を他の学校で実施することなど、基金の設け
目的及び基本理念を踏まえた他のプロジェクトを実施することに活用予定。

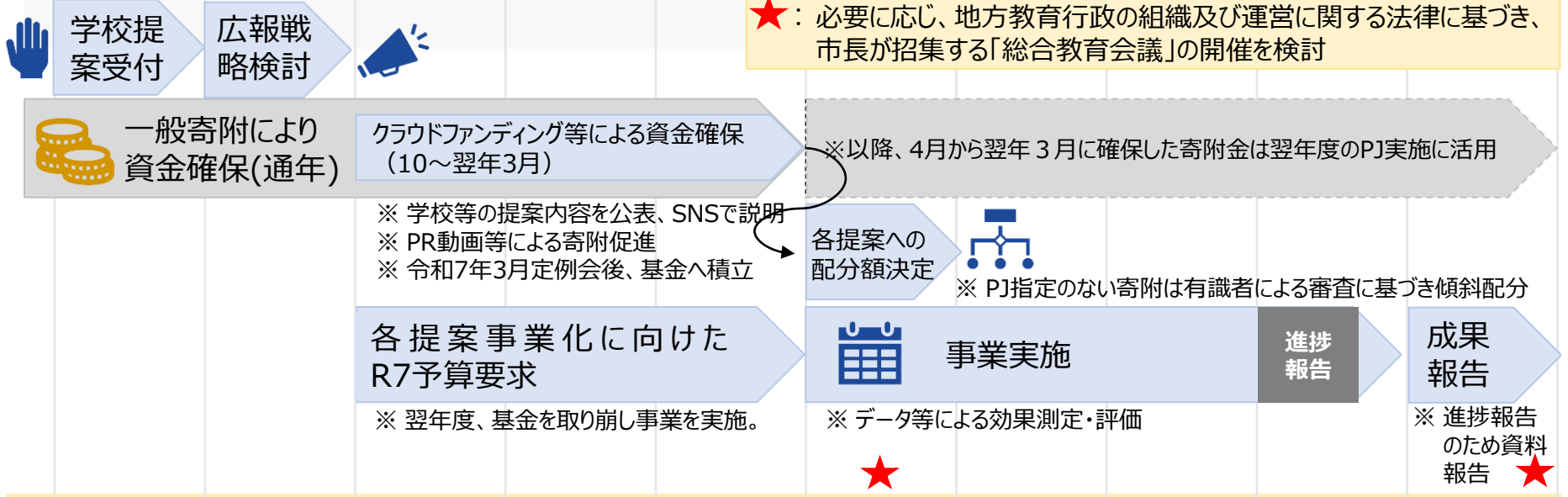
戸田市未来の学び応援基金の活用について

■ 設置目的

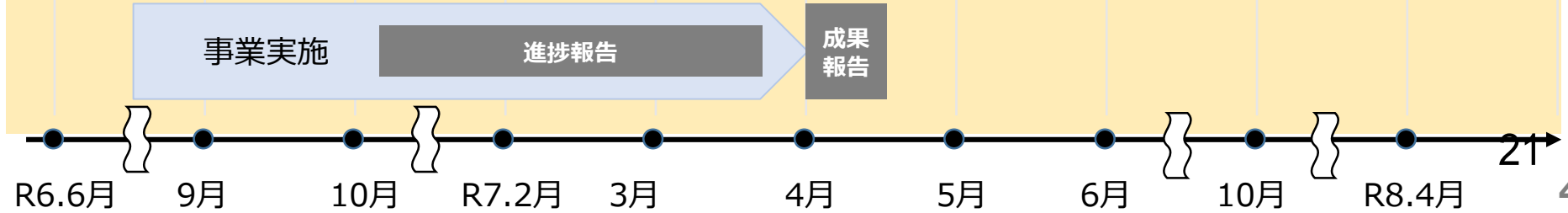
本市の学校を日本の教育改革のモデルとするという趣旨に基づき、**学校主体による夢のある学校改革**や**教育委員会による産官学連携の下での教育改革**を通じた**未来の学びの実現**に要する経費を**寄附等により確保し、年度を超えて機動的に運用**



■ R6提案事業の今後のスケジュール (現時点での想定であり、今後変更が有り得る)



■ R5提案事業の今後のスケジュール



睡眠の質を上げよう

～良い眠りがこどもの心と体を育てる～

日時(会場)

10/12 (土)
14:00～15:30

★オンデマンド配信あり!

講師

快眠セラピスト/睡眠環境プランナー

三橋 美穂 氏



内容

適切な睡眠が心身の発達に与える影響や、睡眠不足が引き起こす様々な問題について理解を深め、こどもの健やかな成長には、質の良い睡眠が重要であることを学ぶ機会にしましょう。

受講方法

・会場 戸田市役所 5階 大会議室 託児あり(9月30日までに要予約)
・オンデマンド 会場での開催後、市公式YouTubeで
申込者限定配信

対象

市内在住・在勤・在学者

申込み

電話・メール・FAX・申込フォームで(9月2日 9時から受付開始)
メール:simin-daigaku@city.toda.saitama.jp
電話:048-441-1800(内線308) / FAX:048-432-9910
申込みフォーム:(右二次元コード)

<https://www.city.toda.saitama.jp/ques/questionnaire.php?openid=1021>

戸田市民大学事務局(戸田市教育委員会事務局生涯学習課)



おうちでも市民大学を楽しもう！

オンデマンド受講の方法

「オンデマンド受講」とは？

会場の講義の様子を撮影した動画を、後日市公式YouTubeに掲載します。好きな時間に何度でも見ることができる受講方法です(申込者限定・期間限定公開)。



1

申し込み方法

携帯電話・スマートフォン等で右の二次元コードを読み取り、申込フォームに必要事項を入力してください。受講方法は「オンデマンド受講」を選択してください。



2

視聴方法

講座終了から1週間以内を目安に、申込時にご入力いただいたメールアドレス宛に、視聴用のURLをお送りします。URLをクリックすると、動画を見ることができます。

URLの例: <https://youtu.be/>

申込者限定公開ですので、URLの取扱いにはご注意ください。期間限定での公開です。メール記載の公開期間をご確認ください。視聴時の通信料は各自の負担になります。

3

受講後

・視聴用URLと一緒に送りしたアンケートへの回答にご協力をお願いします。

・受講票をお持ちの方には、受講した講座の数に応じて単位(市民大学受講印)を差し上げます。受講票に講座名と受講日を記入して、生涯学習課窓口までお持ちいただくか、メールで送付する受講印データを印刷し、貼付けてください。

郷土博物館開館40周年記念 第31回企画展の開催について

第31回企画展開催要項

- 1 名称 第31回企画展「新収蔵品展～ようこそ戸田の宝物たち～」
- 2 開催趣旨 博物館では、戸田市内で使われていた民俗資料や歴史資料を収集し、整理の上保管している。しかし、資料すべてを市民の方に公開する機会は少ないため、今回の展示では、令和3年から令和5年にかけて収集した資料を中心に、戸田の街や人々の暮らしの様子を紹介する。
- 3 開催期間 令和6年10月5日(土)～11月17日(日)【41日間】
期間中休館日：10月28日(月)、10月31日(木)、11月11日(月)
- 4 展示会場 戸田市立郷土博物館3階 特別展示室
- 5 主催 戸田市立郷土博物館
- 6 展示構成 第1章 戸田の人々の暮らし
第2章 戸田の信仰と美術品
第3章 戸田とスポーツ
- 7 入場料 無料
- 8 警備体制 開館時：常設展示室監視員とは別に展示監視員1名の配置
図書館・郷土博物館全館の警備員による定期巡回
- 9 印刷物 ・ポスター(A3判、片面カラー)
・リーフレット(A4判、両面カラー)
- 10 広報活動 ・ポスター掲示(小中学校、公共施設、町会、他の博物館施設等)
・リーフレット配布(館内、公共施設、他の博物館施設等)
・館ホームページ、館内掲示の充実

- ・ イベント関連サイトでの情報提供（日本博物館協会等）
- ・ ソーシャルメディアでの情報提供（X、Facebook、LINE）

11 関連事業

展示解説

日程：令和6年11月2日（土）

会場：郷土博物館3階 特別展示室

対象：どなたでも